

本資料のうち、枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

柏崎刈羽原子力発電所第7号機 工事計画審査資料	
資料番号	KK7 本文-014 改1
提出年月日	2020年6月11日

柏崎刈羽原子力発電所第7号機 工事計画審査資料  
放射性廃棄物の廃棄施設

2020年6月

東京電力ホールディングス株式会社

5. 放射性廃棄物の廃棄施設

1 気体，液体又は固体廃棄物貯蔵設備

1.1 濃縮廃液系

(2) 容器

- a. 濃縮廃液タンク (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)
- b. 濃縮廃液タンク (6号機設備, 5, 6, 7号機共用)

2 気体，液体又は固体廃棄物処理設備

2.1 気体廃棄物処理系

(10) 主配管

2.2 液体廃棄物処理系

2.2.1 放射性ドレン移送系

(4) 容器

- a. タービン建屋低電導度廃液サンプ
- b. タービン建屋高電導度廃液サンプ
- c. 廃棄物処理建屋低電導度廃液サンプ (6号機設備, 6, 7号機共用)

(9) 主要弁

(10) 主配管

2.2.2 低電導度廃液系

(10) 主配管

2.2.3 高電導度廃液系

(1) 熱交換器

- a. 高電導度廃液系濃縮装置加熱器 (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)
- b. 高電導度廃液系濃縮装置加熱器 (6号機設備, 5, 6, 7号機共用)

(4) 容器

- a. 高電導度廃液系収集タンク (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)
- b. 高電導度廃液系収集タンク (6号機設備, 5, 6, 7号機共用)

(10) 主配管

2.2.4 圧力抑制室プール水排水系

(10) 主配管

2.3 固体廃棄物処理系

2.3.1 廃スラッジ系

(4) 容器

- a. 復水浄化系逆洗水受タンク
- b. 焼却炉建屋廃スラッジタンク (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)

(10) 主配管

2.3.2 濃縮廃液系

(10) 主配管

2.4 排気筒

(16) 排気筒

a. 主排気筒

3 堰その他の設備

(2) 原子炉格納容器本体外に設置される流体状の放射性廃棄物を内包する容器からの流体状の放射性廃棄物の施設外への漏えいを防止するために施設する堰

a. 廃棄物処理建屋 1 階トラック室出入口 (6 号機設備, 5, 6, 7 号機共用)

5. 放射性廃棄物の廃棄施設

1 気体、液体又は固体廃棄物貯蔵設備に係る次の事項

1.1 濃縮廃液系

(2) 容器の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料及び個数並びに漏えい防止のための制御方法

a. 濃縮廃液タンク（5号機設備，5,6,7号機共用）

			変更前	変更後
名 称			濃縮廃液タンク (5号機設備，5,6,7号機共用) *1	変更なし
種 類	—	たて置円筒形		
容 量	m <sup>3</sup> /個	<input type="text"/> *2(40*3)		
最 高 使 用 圧 力	MPa	静水頭		
最 高 使 用 温 度	℃	100		
主 要 寸 法	胴 内 径	mm	3500	
	胴 板 厚 さ	mm	<input type="text"/> *4(9.0*3)	
	鏡 板 厚 さ	mm	<input type="text"/> *4(9.0*3)	
	鏡板の形状に係る寸法	mm	3500*2 (鏡板の中央部における内面の半径)	
			350*2 (すみの丸みの内半径)	
	平 板 ( 屋 根 ) 厚 さ	mm	6(6*3) *2	
	管 台 外 径 ( 液 入 口 *5 )	mm	60.5*2	
	管 台 厚 さ ( 液 入 口 *5 )	mm	3.9(3.9*3) *2	
	管 台 外 径 ( 液 入 口 *6 )	mm	60.5*2	
	管 台 厚 さ ( 液 入 口 *6 )	mm	3.9(3.9*3) *2	
管 台 外 径 ( オ ー バ ー フ ロ ー )	mm	114.3*2		
管 台 厚 さ ( オ ー バ ー フ ロ ー )	mm	<input type="text"/> *4(6.0*2, *3)		
管 台 外 径 ( 液 出 口 )	mm	114.3*2		
管 台 厚 さ ( 液 出 口 )	mm	<input type="text"/> *4(6.0*2, *3)		
高 さ *7	mm	4806*8		
材 料	胴 板	—	SUS316L	
	鏡 板	—	SUS316L	
個 数	—	3		
漏えい防止のための制御方法*9			液位高による受入自動阻止回路 液位高高による受入自動停止回路	

- 注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(1) 濃縮廃液タンク」と記載。
- \*2 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- \*3 : 公称値を示す。
- \*4 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和 60 年 6 月 28 日付け 60 資庁第 3007 号にて認可された工事計画の IV-3-5-1-1 「濃縮廃液タンクの強度計算書」による。
- \*5 : 管台符号 N1 を示す。
- \*6 : 管台符号 N2 を示す。
- \*7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。
- \*8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書にはスカートを含めた高さである「5606」と記載。記載内容は、設計図書による。
- \*9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「制御方法」と記載。

b. 濃縮廃液タンク（6号機設備，5,6,7号機共用）

			変更前	変更後	
名 称			濃縮廃液タンク (6号機設備，5,6,7号機共用)	*1	
種 類	—		たて置円筒形		
容 量	m <sup>3</sup> /個		□ *2 (60*3)		
最 高 使 用 圧 力	MPa		静水頭		
最 高 使 用 温 度	℃		100		
主 要 寸 法	胴 内 径	mm	3500	変更なし	
	胴 板 厚 さ	mm	□ *4 (9.0*3)		
	鏡 板 厚 さ	mm	□ *4 (9.0*3)		
	鏡板の形状に係る寸法	mm	3500*2 (鏡板の中央部における内面の半径)		
			350*2 (すみの丸みの内半径)		
	平板 (屋根) 厚 さ	mm	6 (6*3)		*2
	管 台 外 径 (液 入 口)	mm	60.5*2		
	管 台 厚 さ (液 入 口)	mm	3.9 (3.9*3)		*2
	管 台 外 径 (液 出 口)	mm	114.3*2		
	管 台 厚 さ (液 出 口)	mm	□ *4 (6.0*2, *3)		
高 さ *5	mm	6806*6			
材 料	胴 板	—	SUS316L		
	鏡 板	—	SUS316L		
個 数	—		2		
漏えい防止のための制御方法*7		—	液位高による受入自動阻止回路 液位高高による受入自動停止回路		

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「濃縮廃液タンク」と記載。

\*2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

\*3：公称値を示す。

\*4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，平成4年10月13日付け4資庁第8732号にて認可された工事計画のIV-3-4-1-1「濃縮廃液タンクの強度計算書」による。

\*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。

\*6：記載の適正化を行う。既工事計画書にはスカートを含めた高さである「7606」と記載。記載内容は，設計図書による。

\*7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「制御方法」と記載。

2 気体、液体又は固体廃棄物処理設備に係る次の事項(機器がある処理能力を発揮することを目的として一体となった装置を構成する場合は、その装置の名称、種類、処理能力及び個数を付記すること。)

2.1 気体廃棄物処理系

(10) 主配管の名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ及び材料

変 更 前						変 更 後						
名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
気 体 廃 棄 物 処 理 系	N21-F124, 125 ～ 気体廃棄物処理系 排ガス予熱器	2.45*2	225	216.3*3	10.3*3	気 体 廃 棄 物 処 理 系	変更なし					
				355.6*3	15.1*3							STPT410*4
	気体廃棄物処理系 排ガス予熱器 ～ 気体廃棄物処理系 排ガス再結合器	2.45*2	425	355.6*3	11.1*3							SUS316LTP
	気体廃棄物処理系 排ガス再結合器 ～ 気体廃棄物処理系 排ガス復水器	2.45*2	425	406.4*3	12.7*3							SUS316LTP
	気体廃棄物処理系 排ガス復水器 ～ 気体廃棄物処理系 除湿冷却器	2.45*2	66	114.3*3	8.6*3							STPT410*4
				0.11*2	66							114.3*3
	気体廃棄物処理系 除湿冷却器 ～ 気体廃棄物処理系 活性炭式希ガス ホールドアップ塔	0.11*2	66									60.5*3
				60.5*3	5.5*3							STPT410*4
	114.3*3	8.6*3	STPT410*4									

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
気体廃棄物処理系	気体廃棄物処理系活性炭式希ガスホールドアップ塔連絡管	0.11 <sup>*2</sup>	66	114.3 <sup>*3</sup>	8.6 <sup>*3</sup>	STPT410 <sup>*4</sup>	気体廃棄物処理系	変更なし			
	気体廃棄物処理系活性炭式希ガスホールドアップ塔 ～ 気体廃棄物処理系排ガスフィルタ	0.11 <sup>*2</sup>	66	114.3 <sup>*3</sup>	8.6 <sup>*3</sup>	STPT410 <sup>*4</sup>					
	気体廃棄物処理系排ガスフィルタ ～ 気体廃棄物処理系排ガス真空ポンプ	0.11 <sup>*2</sup>	66	114.3 <sup>*3</sup>	8.6 <sup>*3</sup>	STPT410 <sup>*4</sup>					
				60.5 <sup>*3</sup>	5.5 <sup>*3</sup>	STPT410 <sup>*4</sup>					
				34.0 <sup>*3</sup>	6.4 <sup>*3</sup>	STPT410 <sup>*4</sup>					
				165.2 <sup>*3</sup>	11.0 <sup>*3</sup>	STPT410 <sup>*4</sup>					
				89.1 <sup>*3</sup>	5.5 <sup>*3</sup>	SUS304TP					
	気体廃棄物処理系排ガス真空ポンプ ～ 気体廃棄物処理系排ガス循環水タンク	0.11 <sup>*2</sup>	66	89.1 <sup>*3</sup>	5.5 <sup>*3</sup>	SUS304TP					
				114.3 <sup>*3</sup>	6.0 <sup>*3</sup>	SUS304TP					
	*5 気体廃棄物処理系排ガス循環水タンク ～ 主排気筒入口配管合流部	0.11 <sup>*2</sup>	66	165.2 <sup>*3</sup>	11.0 <sup>*3</sup>	STPT410 <sup>*4</sup>					
114.3 <sup>*3</sup>				8.6 <sup>*3</sup>	STPT410 <sup>*4</sup>						
0.35 <sup>*2</sup>		94	114.3 <sup>*3</sup>	8.6 <sup>*3</sup>	STPT410 <sup>*4</sup>						



変 更 前						変 更 後						
名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
気 体 廃 棄 物 処 理 系	*5 主排気筒 入口配管合流部 ～ 主排気筒	0.35*2	94	114.3*3	6.0*3	STPT410*4	気 体 廃 棄 物 処 理 系	変更なし				
				660.4*3	9.5*3	SM400B*6						
	*7 N33-F152A, B ～ 主排気筒 入口配管合流部	0.35*2	94	318.5*3	10.3*3	STPT410*4						
				660.4*3	9.5*3	SM400B*6						

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水器空気抽出系より気体廃棄物処理系排ガス予熱器まで」と記載。

\*2 : SI 単位に換算したものである。

\*3 : 公称値を示す。

\*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT42」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「気体廃棄物処理系排ガス循環水タンクから排気筒まで」と記載。

\*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SM41B」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「タービンランド蒸気系より排ガス循環水タンク出口配管まで」と記載。

2.2 液体廃棄物処理系

2.2.1 放射性ドレン移送系

(4) 容器の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料及び個数並びに漏えい防止のための制御方法

a. タービン建屋低電導度廃液サンプル

			変更前	変更後
名 称			タービン建屋低電導度廃液サンプル*1	
種 類	—		たて置円筒形	
容 量	m <sup>3</sup> /個		2.5*2(4*3)	
最 高 使 用 圧 力	MPa		静水頭	
最 高 使 用 温 度	℃		66	
主 要 寸 法	胴 内 径	mm	1750	
	胴 板 厚 さ	mm	□*4(6.0*3)	
	鏡 板 厚 さ	mm	□*4(6.0*3)	
	鏡板の形状に係る寸法	mm	1750*2 (鏡板の中央部における内面の半径)	
			175*2 (すみの丸みの内半径)	
	管台外径 (液入口)	mm	89.1*2	
	管台厚さ (液入口)	mm	□(5.5*3)*4	
高 さ*5	mm	1866*6		
材 料	胴 板	—	SUS304	
	鏡 板	—	SUS304	
個 数	—	2		
漏えい防止のための制御方法*7		—	液位高によるサンプルポンプ1台自動起動回路 液位高高によるサンプルポンプ2台自動起動回路	

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(2) タービン建屋低電導度廃液サンプル」と記載。

\*2 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*3 : 公称値を示す。

\*4 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年3月27日付け3資庁第13034号にて認可された工事計画のIV-3-3-1-2「サンプルの強度計算書(その2)」による。

\*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。

\*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には支持脚を含めた高さである「2060」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「制御方法」と記載。

b. タービン建屋高電導度廃液サンプ

			変更前		変更後
名 称			タービン建屋高電導度廃液サンプ*1		
			(A)	(B)	
種 類	—	たて置円筒形			
容 量	m <sup>3</sup> /個	2.5*2(4*3)			
最 高 使 用 圧 力	MPa	静水頭			
最 高 使 用 温 度	℃	66			
主 要 寸 法	胴 内 径	mm	1750		
	胴 板 厚 さ	mm	<input type="text" value=""/>	*4,*5(6.0*3)	
	鏡 板 厚 さ	mm	<input type="text" value=""/>	*4,*5(6.0*3)	
	鏡板の形状に係る寸法	mm	1750*2 (鏡板の中央部における内面の半径)		
			175*2 (すみの丸みの内半径)		
	管台外径 (液入口)	mm	89.1*2		
	管台厚さ (液入口)	mm	<input type="text" value=""/>	*4,*5(5.5*3)	
高 さ*6	mm	1866*7			
材 料	胴 板	—	SUS304	SUS316L	
	鏡 板	—	SUS304	SUS316L	
個 数	—	1	1		
漏えい防止のための制御方法*8	—	液位高によるサンプポンプ1台自動起動回路 液位高高によるサンプポンプ2台自動起動回路			

変更なし

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(4) タービン建屋高電導度廃液サンプ」と記載。

\*2 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*3 : 公称値を示す。

\*4 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年3月27日付け3資庁第13034号にて認可された工事計画のIV-3-3-1-2「サンプの強度計算書(その2)」による。

\*5 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年3月27日付け3資庁第13034号にて認可された工事計画のIV-3-3-1-3「サンプの強度計算書(その3)」による。

\*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。

\*7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には支持脚を含めた高さである「2060」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「制御方法」と記載。

c. 廃棄物処理建屋低電導度廃液サンプ（6号機設備，6,7号機共用）

			変更前	変更後	
名称			廃棄物処理建屋低電導度廃液サンプ （6号機設備，6,7号機共用） <sup>*1</sup>	変更なし	
種類	類	—	たて置円筒形		
容量	量	m <sup>3</sup>	2.5 <sup>*2</sup> (4 <sup>*3</sup> )		
最高使用圧力	MPa	—	静水頭		
最高使用温度	℃	—	66		
主要寸法	胴内径	mm	1750		
	胴板厚さ	mm	<input type="text"/> <sup>*4</sup> (6.0 <sup>*3</sup> )		
	鏡板厚さ	mm	<input type="text"/> <sup>*4</sup> (6.0 <sup>*3</sup> )		
	鏡板の形状に係る寸法	mm	1750 <sup>*2</sup> （鏡板の中央部における内面の半径）		
			175 <sup>*2</sup> （すみの丸みの内半径）		
	管台外径（液入口）	mm	89.1 <sup>*2</sup>		
	管台厚さ（液入口）	mm	<input type="text"/>		<sup>*4</sup> (5.5 <sup>*3</sup> )
高さ <sup>*5</sup>	mm	1866 <sup>*6</sup>			
材料	胴板	—	SUS304		
	鏡板	—	SUS304		
個数	—	1			
漏えい防止のための制御方法 <sup>*7</sup>		—	液位高によるサンプポンプ1台自動起動回路 液位高高によるサンプポンプ2台自動起動回路		

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「(1) 廃棄物処理建屋低電導度廃液サンプ」と記載。

\*2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

\*3：公称値を示す。

\*4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，平成4年10月13日付け4資庁第8732号にて認可された工事計画のIV-3-4-3-1「サンプの強度計算書（その4）」による。

\*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。

\*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には支持脚を含めた高さである「2060」と記載。記載内容は，設計図書による。

\*7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「制御方法」と記載。

(9) 主要弁の名称, 種類, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料, 駆動方法, 個数及び取付箇所

			変 更 前	変 更 後
名 称			K11-F003* <sup>1</sup>	変更なし
種 類	—		止め弁	
最 高 使 用 圧 力	MPa		0.98* <sup>2</sup>	
最 高 使 用 温 度	℃		171* <sup>2</sup>	
主 要 寸 法	呼 び 径	—* <sup>3</sup>	65A* <sup>4</sup>	
	弁 箱 厚 さ	mm	<input type="text"/> 以上* <sup>2</sup>	
	弁 ふ た 厚 さ	mm	<input type="text"/> 以上* <sup>2</sup>	
材 料	弁 箱	—	SCPH2	
	弁 ふ た	—	SCPH2	
駆 動 方 法			電気作動	
個 数			1	
取 付 箇 所	系 統 名	—	放射性ドレン移送系* <sup>2</sup>	
	設 置 床	—	原子炉格納容器 T. M. S. L. -1700mm <small>*<sup>5</sup></small>	
	溢水防護上の 区 画 番 号	—	—	
	溢水防護上の配 慮が必要な高さ	—		

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「F003」と記載。記載内容は, 設計図書による。

\*2 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

\*3 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(呼び径 A)」と記載。

\*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「65」と記載。

\*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉格納容器内」と記載。記載内容は, 設計図書による。

		変 更 前		変 更 後	
名 称		K11-F004* <sup>1</sup>		変更なし	
種 類	—	止め弁			
最 高 使 用 圧 力	MPa	0.98* <sup>2</sup>			
最 高 使 用 温 度	℃	171* <sup>2</sup>			
主 要 寸 法	呼 び 径	—* <sup>3</sup>	65A* <sup>4</sup>		
	弁 箱 厚 さ	mm	□ 以上* <sup>2</sup>		
	弁 ふ た 厚 さ	mm	□ 以上* <sup>2</sup>		
材 料	弁 箱	—	SCPH2		
	弁 ふ た	—	SCPH2		
駆 動 方 法		—	電気作動		
個 数		—	1		
取 付 所	系 統 名	—	放射性ドレン移送系* <sup>2</sup>		
	設 置 床	—	* <sup>5</sup> 原子炉建屋 T. M. S. L. -1700mm		
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—		

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「F004」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*2 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*3 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(呼び径 A)」と記載。

\*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「65」と記載。

\*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉格納容器外」と記載。記載内容は、設計図書による。

		変 更 前	変 更 後
名 称		K11-F103* <sup>1</sup>	
種 類	—	止め弁	
最 高 使 用 圧 力	MPa	0.98* <sup>2</sup>	
最 高 使 用 温 度	℃	171* <sup>2</sup>	
主 要 寸 法	呼 び 径	—* <sup>3</sup>	65A* <sup>4</sup>
	弁 箱 厚 さ	mm	<input type="text"/> 以上* <sup>2</sup>
	弁 ふ た 厚 さ	mm	<input type="text"/> 以上* <sup>2</sup>
材 料	弁 箱	—	SCS16A
	弁 ふ た	—	SCS16A
駆 動 方 法		—	電気作動
個 数		—	1
取 付 箇 所	系 統 名	—	放射性ドレン移送系* <sup>2</sup>
	設 置 床	—	原子炉格納容器 T. M. S. L. -1700mm * <sup>5</sup>
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—

変更なし

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「F103」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*2 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*3 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(呼び径 A)」と記載。

\*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「65」と記載。

\*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉格納容器内」と記載。記載内容は、設計図書による。

		変 更 前	変 更 後	
名 称		K11-F104*1	変更なし	
種 類	—	止め弁		
最 高 使 用 圧 力	MPa	0.98*2		
最 高 使 用 温 度	℃	171*2		
主 要 寸 法	呼 び 径	—*3		65A*4
	弁 箱 厚 さ	mm		<input type="text"/> 以上*2
	弁 ふ た 厚 さ	mm		<input type="text"/> 以上*2
材 料	弁 箱	—		SCS16A
	弁 ふ た	—		SCS16A
駆 動 方 法		—		電気作動
個 数		—		1
取 付 所	系 統 名	—		放射性ドレン移送系*2
	設 置 床	—		原子炉建屋 T. M. S. L. -1700mm
箇 所	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「F104」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*2 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*3 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(呼び径 A)」と記載。

\*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「65」と記載。

\*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉格納容器外」と記載。記載内容は、設計図書による。



(10) 主配管の名称, 最高使用圧力, 最高使用温度, 外径, 厚さ及び材料

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
放射性 ドレン 移送系	*1 ドライウエル 低電導度廃液 サンプポンプ(A), (B) ～ K11-F003	0.98*2	95	60.5*3	5.5*3	STPT410*4	放射性 ドレン 移送系	変更なし				
				76.3*3	5.2*3	STPT410*4						
	*1 K11-F003 ～ K11-F004	0.98*2	171	76.3*3	5.2*3	STPT410*4						
	*1 K11-F004 ～ ドライウエル低電導度廃液 サンプポンプ出口配管合流部	0.98*2	66	76.3*3	5.2*3	STPT410*4						
				76.3*3	5.2*3	SUS304TP						
	*1 ドライウエル低電導度廃液 サンプポンプ出口配管合流部 ～ 原子炉建屋低電導度廃液 サンプポンプ(B), (D)出口配 管合流部	0.98*2	66	89.1*3	5.5*3	STPT410*4						
*1 原子炉建屋低電導度廃液 サンプポンプ(B), (D) 出口配管合流部 ～ 原子炉建屋低電導度廃液 サンプポンプ(A), (C) 出口配管合流部	0.98*2	66	89.1*3	5.5*3	STPT410*4							

変 更 前						変 更 後						
名 称	最 高 使 用 圧 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最 高 使 用 圧 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
放射 性 ド レ ン 移 送 系	*1 原子炉建屋低電導度廃液 サンプポンプ(A), (C) 出口配管合流部 ～ 放射性ドレン移送系 原子炉建屋貫通部 (その1)	0.98*2	66	89.1*3	5.5*3	STPT410*4	放射 性 ド レ ン 移 送 系	変更なし				
	*5 ドライウエル高電導度廃液 サンプポンプ(A), (B) ～ K11-F103	0.98*2	66	60.5*3	3.9*3	SUS304TP						
	76.3*3			5.2*3	SUS304TP							
	*5 K11-F103 ～ K11-F104	0.98*2	171	76.3*3	5.2*3	SUS316LTP						
	*5 K11-F104 ～ ドライウエル低電導度廃液 サンプポンプ出口配管合流部	0.98*2	66	76.3*3	5.2*3	SUS304TP						
	66		76.3*3	5.2*3	STPT410*4							
	*6 原子炉建屋低電導度廃液 サンプポンプ(B), (D) ～ 原子炉建屋低電導度廃液 サンプポンプ(B), (D) 出口配管合流部	0.98*2	66	60.5*3	5.5*3	STPT410*4						
	76.3*3			5.2*3	STPT410*4							
*6 原子炉建屋低電導度廃液 サンプポンプ(A), (C) ～ 原子炉建屋低電導度廃液 サンプポンプ(A), (C) 出口配管合流部	0.98*2	66	60.5*3	5.5*3	STPT410*4							
76.3*3			5.2*3	STPT410*4								

変更前						変更後						
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
放射性ドレン移送系	*7 原子炉建屋高電導度廃液 サンプルポンプ(A), (F) ～ 原子炉建屋高電導度廃液 サンプルポンプ(D), (I) 出口配管合流部	0.98*2	66	60.5*3	3.9*3	SUS304TP	放射性ドレン移送系	変更なし				
	76.3*3			5.2*3	SUS304TP							
	*7 原子炉建屋高電導度廃液 サンプルポンプ(D), (I) 出口配管合流部 ～ 原子炉建屋高電導度廃液 サンプルポンプ(E), (J) 出口配管合流部	0.98*2	66	89.1*3	5.5*3	SUS304TP						
	*7 原子炉建屋高電導度廃液 サンプルポンプ(E), (J) 出口配管合流部 ～ 放射性ドレン移送系 原子炉建屋貫通部 (その2)			0.98*2	66	114.3*3						
	*8 原子炉建屋高電導度廃液 サンプルポンプ(D), (I) ～ 原子炉建屋高電導度廃液 サンプルポンプ(D), (I) 出口配管合流部	0.98*2	66			60.5*3						
	*9 原子炉建屋高電導度廃液 サンプルポンプ(E), (J) ～ 原子炉建屋高電導度廃液 サンプルポンプ(B), (G) 出口配管合流部			0.98*2	66	76.3*3						
	60.5*3	3.9*3	SUS304TP									
	76.3*3	5.2*3	SUS304TP									

変 更 前						変 更 後						
名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
放射 性 ド レ ン 移 送 系	*9 原子炉建屋高電導度廃液 サンプルポンプ(B), (G) 出口配管合流部 ～ 原子炉建屋高電導度廃液 サンプルポンプ(C), (H) 出口配管合流部	0.98*2	66	89.1*3	5.5*3	SUS304TP	放射 性 ド レ ン 移 送 系	変更なし				
	*9 原子炉建屋高電導度廃液 サンプルポンプ(C), (H) 出口配管合流部 ～ 原子炉建屋高電導度廃液 サンプルポンプ(E), (J) 出口配管合流部	0.98*2	66	89.1*3	5.5*3	SUS304TP						
	*10 原子炉建屋高電導度廃液 サンプルポンプ(B), (G) ～ 原子炉建屋高電導度廃液 サンプルポンプ(B), (G) 出口配管合流部	0.98*2	66	114.3*3	6.0*3	SUS304TP						
	*10 原子炉建屋高電導度廃液 サンプルポンプ(B), (G) ～ 原子炉建屋高電導度廃液 サンプルポンプ(B), (G) 出口配管合流部	0.98*2	66	60.5*3	3.9*3	SUS304TP						
	*10 原子炉建屋高電導度廃液 サンプルポンプ(B), (G) ～ 原子炉建屋高電導度廃液 サンプルポンプ(B), (G) 出口配管合流部	0.98*2	66	76.3*3	5.2*3	SUS304TP						
	*10 原子炉建屋高電導度廃液 サンプルポンプ(C), (H) ～ 原子炉建屋高電導度廃液 サンプルポンプ(C), (H) 出口配管合流部	0.98*2	66	60.5*3	3.9*3	SUS304TP						
	*10 原子炉建屋高電導度廃液 サンプルポンプ(C), (H) ～ 原子炉建屋高電導度廃液 サンプルポンプ(C), (H) 出口配管合流部	0.98*2	66	76.3*3	5.2*3	SUS304TP						
	*11 タービン建屋低電導度廃液 サンプルポンプ(A), (C) ～ タービン建屋低電導度廃液 サンプルポンプ(B), (D) 出口配管合流部	0.98*2	66	60.5*3	5.5*3	STPT370*12						
	*11 タービン建屋低電導度廃液 サンプルポンプ(A), (C) ～ タービン建屋低電導度廃液 サンプルポンプ(B), (D) 出口配管合流部	0.98*2	66	76.3*3	5.2*3	STPT370*12						
	*11 タービン建屋低電導度廃液 サンプルポンプ(B), (D) 出口配管合流部	0.98*2	66	89.1*3	5.5*3	STPT370*12						

変 更 前						変 更 後						
名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
放 射 性 ド レ ン 移 送 系	*11 タービン建屋低電導度廃液 サンプポンプ(B), (D) 出口配管合流部 ～ 放射性ドレン移送系 タービン建屋貫通部	0.98*2	66	89.1*3	5.5*3	STPT370*12	放 射 性 ド レ ン 移 送 系	変更なし				
	*13 タービン建屋低電導度廃液 サンプポンプ(B), (D) ～ タービン建屋低電導度廃液 サンプポンプ(B), (D) 出口配管合流部	0.98*2	66	60.5*3	5.5*3	STPT370*12						
	*14 タービン建屋高電導度廃液 サンプポンプ(A), (C) ～ 配管取合点 (7号機放射性 ドレン移送系, 廃棄物処理 建屋放射性ドレン移送系) (その1)	0.98*2	66	60.5*3	3.9*3	SUS304TP						
	*15 タービン建屋高電導度廃液 サンプポンプ(B), (D) ～ 配管取合点 (7号機放射性 ドレン移送系, 廃棄物処理 建屋放射性ドレン移送系) (その2)	0.98*2	66	76.3*3	5.2*3	SUS304TP						
	*15 タービン建屋高電導度廃液 サンプポンプ(B), (D) ～ 配管取合点 (7号機放射性 ドレン移送系, 廃棄物処理 建屋放射性ドレン移送系) (その2)	0.98*2	66	60.5*3	3.9*3	SUS316LTP						
	*16 放射性ドレン移送系 原子炉建屋貫通部 (その1) ～ 低電導度廃液系収集槽 入口収集管	0.98*2	66	89.1*3	5.5*3	STPT410*4						

変 更 前							変 更 後					
名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
放 射 性 ド レ ン 移 送 系	*17 放射性ドレン移送系 原子炉建屋貫通部 (その2) ～ タービン建屋高電導度廃液 サンプポンプ(A), (C) 出口配管合流部	0.98*2	66	114.3*3	6.0*3	SUS304TP	放 射 性 ド レ ン 移 送 系	変更なし				
	*17 タービン建屋高電導度廃液 サンプポンプ(A), (C) 出口配管合流部 ～ K13-F024	0.98*2	66	114.3*3	6.0*3	SUS304TP						
	*18 配管取合点 (7号機放射性 ドレン移送系, 廃棄物処理 建屋放射性ドレン移送系) (その1) ～ タービン建屋高電導度廃液 サンプポンプ(A), (C) 出口配管合流部	0.98*2	66	76.3*3	5.2*3	SUS304TP						
	*19 配管取合点 (7号機放射性 ドレン移送系, 廃棄物処理 建屋放射性ドレン移送系) (その2) ～ 高電導度廃液系放射性 ドレン移送配管合流部	0.98*2	66	76.3*3	5.2*3	SUS316LTP						

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
放射性ドレン移送系	*20 放射性ドレン移送系 タービン建屋貫通部 ～ K12-F113	0.98*2	66	89.1*3	5.5*3	STPT370*12	放射性ドレン移送系	変更なし				
	圧力抑制室プール水 サージポンプ室 高電導度廃液サンプポンプ ～ 高電導度廃液系収集タンク 入口収集管 (床ドレン廃液用) (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	0.98*2	66	60.5*3	3.9*3	SUS304TP						
	廃棄物処理建屋 低電導度廃液サンプポンプ ～ 低電導度廃液系収集槽 入口収集管 (6号機設備, 6, 7号機共用)	0.98*2	66	60.5*3	5.5*3	STPT370*12						
				76.3*3	5.2*3	SUS304TP						
				60.5*3	3.9*3	SUS316LTP						
				76.3*3	5.2*3	SUS316LTP						
				60.5*3	3.9*3	SUS316LTP						
				76.3*3	5.2*3	SUS316LTP						

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
放射性ドレン移送系	サービス建屋 高電導度廃液サンプポンプ ～ 高電導度廃液系収集タンク 入口収集管（化学廃液用） （6号機設備，6,7号機共用）	0.98*2	66	60.5*3	3.9*3	SUS316LTP	放射性ドレン移送系	変更なし			
				76.3*3	5.2*3	SUS316LTP					

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「ドライウェル低電導度廃液サンプポンプから第6号機低電導度廃液系収集槽へ」と記載。

\*2：SI単位に換算したものである。

\*3：公称値を示す。

\*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT42」と記載。記載内容は，設計図書による。

\*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「ドライウェル高電導度廃液サンプポンプからドライウェル低電導度廃液サンプポンプ出口配管まで」と記載。

\*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉建屋低電導度廃液サンプポンプからドライウェル低電導度廃液サンプポンプ出口配管まで」と記載。

\*7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(A),(F)から第6号機高電導度廃液系収集タンクへ」と記載。

\*8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(D),(I)から原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(A)・(F)出口配管まで」と記載。

\*9：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(E),(J)から原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(A)・(F)出口配管まで」と記載。

\*10：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(B),(G),(C),(H)から原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(E)・(J)出口配管まで」と記載。

\*11：記載の適正化を行う。既工事計画書には「タービン建屋低電導度廃液サンプポンプ(A),(C)から第6号機低電導度廃液系収集槽へ」と記載。

\*12：記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT38」と記載。記載内容は，設計図書による。

\*13：記載の適正化を行う。既工事計画書には「タービン建屋低電導度廃液サンプポンプ(B),(D)からタービン建屋低電導度廃液サンプポンプ(A)・(C)出口配管まで」と記載。

\*14：記載の適正化を行う。既工事計画書には「タービン建屋高電導度廃液サンプポンプ(A),(C)から第6号機高電導度廃液系収集タンクへ」と記載。

\*15：記載の適正化を行う。既工事計画書には「タービン建屋高電導度廃液サンプポンプ(B),(D)から第6号機高電導度廃液系収集タンクへ」と記載。

\*16：記載の適正化を行う。既工事計画書には「ドライウェル低電導度廃液サンプポンプ，ドライウェル高電導度廃液サンプポンプ，原子炉建屋低電導度廃液サンプポンプより第6号機低電導度廃液系収集槽へ」と記載。

\*17：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプより第6号機高電導度廃液系収集タンクへ」と記載。

\*18：記載の適正化を行う。既工事計画書には「タービン建屋高電導度廃液サンプポンプ(A),(C)より原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ出口配管まで」と記載。

\*19：記載の適正化を行う。既工事計画書には「タービン建屋高電導度廃液サンプポンプ(B),(D)より高電導度廃液系まで」と記載。

\*20：記載の適正化を行う。既工事計画書には「タービン建屋低電導度廃液サンプポンプより第6号機低電導度廃液系収集槽へ」と記載。



2.2.2 低電導度廃液系

(10) 主配管の名称, 最高使用圧力, 最高使用温度, 外径, 厚さ及び材料

変 更 前						変 更 後						
名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
低電導度廃液系	低電導度廃液系収集槽 入口収集管 (6号機設備, 6,7号機共用)	0.98*1	66	89.1*2	5.5*2	STPT370*3	低電導度廃液系	変更なし				
				114.3*2	6.0*2	STPT370*3						
				165.2*2	7.1*2	STPT370*3						
				216.3*2	8.2*2	STPT370*3						
				216.3*2	8.2*2	SUS304TP						
	低電導度廃液系収集槽 ～ 低電導度廃液系収集ポンプ (6号機設備, 6,7号機共用)	静水頭	66	216.3*2	8.2*2	SUS304TP						
				216.3*2	8.2*2	STPT370*3						
	低電導度廃液系収集ポンプ ～ 低電導度廃液系通水ポンプ (6号機設備, 6,7号機共用)	0.98*1	66	216.3*2	8.2*2	STPT370*3						
				165.2*2	7.1*2	STPT370*3						
				139.8*2	6.6*2	STPT370*3						
				165.2*2	7.1*2	STPT370*3						
	低電導度廃液系通水ポンプ ～ 低電導度廃液系ろ過器 (6号機設備, 6,7号機共用)	1.37*1	66	60.5*2	5.5*2	STPT370*3						
				76.3*2	5.2*2	STPT370*3						
				60.5*2	5.5*2	STPT370*3						
	低電導度廃液系通水ポンプ ～ 低電導度廃液系ろ過器 (6号機設備, 6,7号機共用)	1.37*1	66	89.1*2	5.5*2	STPT370*3						
48.6*2				5.1*2	STPT370*3							
60.5*2				5.5*2	STPT370*3							
低電導度廃液系ろ過器 (6号機設備, 6,7号機共用)	1.37*1	66	60.5*2	5.5*2	STPT370*3							
			60.5*2	3.9*2	SUS304TP							

変 更 前						変 更 後						
名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
低電導度廃液系	低電導度廃液系ろ過器 ～ 低電導度廃液系脱塩塔 (6号機設備, 6,7号機共用)	1.37*1	66	60.5*2	3.9*2	SUS304TP	低電導度廃液系	変更なし				
	*4 低電導度廃液系ろ過器 ～ K21-F105 (6号機設備, 6,7号機共用)	1.37*1	66	76.3*2	5.2*2	SUS304TP						
	低電導度廃液系脱塩塔 ～ 低電導度廃液系サンプル槽 (6号機設備, 6,7号機共用)	0.98*1	66	76.3*2	5.2*2	SUS304TP						
	低電導度廃液系脱塩塔 ～ 低電導度廃液系サンプル槽 (6号機設備, 6,7号機共用)	1.37*1	66	60.5*2	3.9*2	SUS304TP						
	低電導度廃液系脱塩塔 ～ 低電導度廃液系サンプル槽 (6号機設備, 6,7号機共用)	1.37*1	66	76.3*2	5.2*2	SUS304TP						
	*5 低電導度廃液系脱塩塔 ～ K21-F202 (6号機設備, 6,7号機共用)	1.37*1	66	89.1*2	5.5*2	SUS304TP						
	低電導度廃液系脱塩塔 ～ 低電導度廃液系サンプル槽 (6号機設備, 6,7号機共用)	0.98*1	66	89.1*2	5.5*2	SUS304TP						
	低電導度廃液系サンプル槽 ～ 低電導度廃液系サンプルポンプ (6号機設備, 6,7号機共用)	静水頭	66	165.2*2	7.1*2	SUS304TP						
	低電導度廃液系サンプルポンプ ～ 低電導度廃液系サンプルポンプ (6号機設備, 6,7号機共用)	0.98*1	66	165.2*2	7.1*2	SUS304TP						
	低電導度廃液系サンプルポンプ ～ 低電導度廃液系サンプルポンプ (6号機設備, 6,7号機共用)	0.98*1	66	139.8*2	6.6*2	SUS304TP						
	*6 低電導度廃液系サンプルポンプ ～ 低電導度廃液系サンプルポンプ 出口配管合流部 (6号機設備, 6,7号機共用)	0.98*1	66	114.3*2	6.0*2	SUS304TP						
	低電導度廃液系サンプルポンプ 出口配管合流部 (6号機設備, 6,7号機共用)	0.98*1	66	89.1*2	5.5*2	SUS304TP						

変 更 前						変 更 後						
名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
低電導度廃液系	*6 低電導度廃液系サンプルポンプ出口配管合流部 ～ 低電導度廃液系サンプルポンプ出口配管分岐部 (6号機設備, 6,7号機共用)	0.98*1	66	114.3*2	6.0*2	SUS304TP	低電導度廃液系	変更なし				
	*6 低電導度廃液系サンプルポンプ出口配管分岐部 ～ 低電導度廃液系 (6号機設備, 6,7号機共用)	0.98*1	66	114.3*2	6.0*2	SUS304TP						
	*7 K13-F145 ～ 低電導度廃液系サンプルポンプ出口配管合流部 (6号機設備, 6,7号機共用)	0.98*1	66	89.1*2	5.5*2	SUS304TP						
	*8 低電導度廃液系サンプルポンプ出口配管分岐部 ～ P13-F024 (6号機設備, 6,7号機共用)	0.98*1	66	114.3*2	6.0*2	SUS304TP						

注記\*1 : SI 単位に換算したものである。

\*2 : 公称値を示す。

\*3 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT38」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「低電導度廃液系ろ過器から廃スラッジ系へ」と記載。

\*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「低電導度廃液系脱塩塔から廃スラッジ系へ」と記載。

\*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「低電導度廃液系サンプルポンプから補給水系へ」と記載。

\*7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「高電導度廃液系より LCW サンプルポンプ出口配管まで」と記載。

\*8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「LCW サンプルポンプ出口配管から第7号機補給水系へ」と記載。

2.2.3 高電導度廃液系

(1) 熱交換器の名称, 種類, 容量, 最高使用圧力 (管側及び胴側の別に記載すること。), 最高使用温度 (管側及び胴側の別に記載すること。), 伝熱面積, 主要寸法, 材料及び個数

a. 高電導度廃液系濃縮装置加熱器 (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)

			変更前	変更後	
名 称			高電導度廃液系濃縮装置加熱器 (5号機設備, 5, 6, 7号機共用) *1	変更なし	
種 類	—	たて置直管式			
容 量 ( 設 計 熱 交 換 量 )	MW/個	2.95*2			
管 側	最 高 使 用 圧 力	MPa	0.25*2		
	最 高 使 用 温 度	℃	139		
胴 側	最 高 使 用 圧 力	MPa	0.44*2		
	最 高 使 用 温 度	℃	166		
伝 熱 面 積		m <sup>2</sup> /個	<input type="text"/> *3 ( <input type="text"/> *4, *5)		
主 要 寸 法	管 側	胴 内 径 *6	mm		700
		鏡 板 厚 さ *7	mm		<input type="text"/> *8 (8.0*5)
	鏡板の形状に係る寸法	mm	700*3 (鏡板の中央部における内面の半径)		
		mm	70*3 (すみの丸みの内半径)		
	管 台 外 径 ( 液 入 口 )	mm	355.6*3		
	管 台 厚 さ ( 液 入 口 )	mm	<input type="text"/> *8 (8.0*3, *5)		
	管 台 外 径 ( 液 出 口 )	mm	406.4*3		
	管 台 厚 さ ( 液 出 口 )	mm	<input type="text"/> *8 (8.0*3, *5)		
	フ ラ ン ジ 厚 さ	mm	<input type="text"/> *8 (25.0*3, *5)		
	胴 側	胴 内 径 *9	mm		700
		胴 板 厚 さ *10	mm		<input type="text"/> *8 (8.0*5)
		管 台 外 径 ( 蒸 気 入 口 )	mm		165.2*3
		管 台 厚 さ ( 蒸 気 入 口 )	mm		<input type="text"/> *8 (6.0*3, *5)
		管 台 外 径 ( 凝 縮 水 出 口 )	mm		115.0*3
管 台 厚 さ ( 凝 縮 水 出 口 )		mm	<input type="text"/> *8 (6.0*3, *5)		
管 板 厚 さ	mm	<input type="text"/> *8 (39.0*5)			
伝 熱 管 外 径	mm	<input type="text"/>			
伝 熱 管 厚 さ	mm	<input type="text"/> *8 ( <input type="text"/> *5)			
高 さ *11	mm	5214*12			

				変 更 前	変更後
材 料	管 側	鏡 板	—	TP35H	変 更 な し
		胴 フ ラ ン ジ	—	TB35H* <sup>3</sup>	
	胴 側	胴 板	—	TP35H	
	管	管 板	—	TP35H	
	伝 熱 管	管	—	TTH35W	
個	数	—	2		

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「(5) 高電導度廃液系濃縮装置加熱器」と記載。

\*2：SI 単位に換算したものである。

\*3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「63」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*5：公称値を示す。

\*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「水室内径」と記載。

\*7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「水室鏡板厚さ」と記載。

\*8：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和 60 年 6 月 28 日付け 60 資庁第 3007 号にて認可された工事計画の IV-3-5-3-6 「高電導度廃液系濃縮装置加熱器の強度計算書」による。

\*9：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体内径」と記載。

\*10：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体厚さ」と記載。

\*11：記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。

\*12：記載の適正化を行う。既工事計画書には管の部分を含めた長さである「5541」と記載。記載内容は、設計図書による。

b. 高電導度廃液系濃縮装置加熱器（6号機設備，5,6,7号機共用）

			変 更 前	変更後	
名 称			高電導度廃液系濃縮装置加熱器 (6号機設備，5,6,7号機共用) *1	変更なし	
種 類	—	たて置直管式			
容 量 ( 設 計 熱 交 換 量 )	MW	2.95*2			
管 側	最 高 使 用 圧 力	MPa	0.25*2		
	最 高 使 用 温 度	°C	139		
胴 側	最 高 使 用 圧 力	MPa	0.44*2		
	最 高 使 用 温 度	°C	166		
伝 熱 面 積		m <sup>2</sup>	<input type="text"/> *3 ( <input type="text"/> *4, *5)		
主 要 寸 法	管 側	胴 内 径*6	mm		700
		鏡 板 厚 さ*7	mm		<input type="text"/> *8(8.0*5)
		鏡板の形状に係る寸法	mm		700*3 (鏡板の中央部における内面の半径)
			mm		70*3 (すみの丸みの内半径)
		管台外径 (液入口)	mm		318.5*3
		管台厚さ (液入口)	mm		<input type="text"/> *8(8.0*3, *5)
		管台外径 (液出口)	mm		406.4*3
	胴 側	管台厚さ (液出口)	mm		<input type="text"/> *8(8.0*3, *5)
		フ ラ ン ジ 厚 さ	mm		<input type="text"/> *8(25.0*3, *5)
		胴 内 径*9	mm		700
	管 側	胴 板 厚 さ*10	mm		<input type="text"/> *8(8.0*5), <input type="text"/> *8(16.0*5)
		管台外径 (蒸気入口)	mm		165.2*3
		管台厚さ (蒸気入口)	mm		<input type="text"/> *8(6.0*3, *5)
		管台外径 (凝縮水出口)	mm		115.0*3
管台厚さ (凝縮水出口)		mm	<input type="text"/> *8(6.0*3, *5)		
管 板 厚 さ		mm	<input type="text"/> *8(39.0*5)		
伝 熱 管 外 径		mm	<input type="text"/>		
伝 熱 管 厚 さ		mm	<input type="text"/> *8( <input type="text"/> *5)		
高 さ*11		mm	5471*12		
材 料	管 側	鏡 板	—		TP35H
		胴 フ ラ ン ジ	—	TB35H*3	
	胴 側	胴 板	—	TP35H	
	管	管 板	—	TP35H	
	伝 熱 管		—	TTH35W	

		変 更 前	変更後
個	数	1	変更なし

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(4) 高電導度廃液系濃縮装置加熱器」と記載。

\*2 : SI 単位に換算したものである。

\*3 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「63」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*5 : 公称値を示す。

\*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「水室内径」と記載。

\*7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「水室鏡板厚さ」と記載。

\*8 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年10月13日付け4資庁第8732号にて認可された工事計画のIV-3-4-3-7「高電導度廃液系濃縮装置加熱器の強度計算書」による。

\*9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体内径」と記載。

\*10 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体厚さ」と記載。

\*11 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。

\*12 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には管の部分を含めた長さである「5798」と記載。記載内容は、設計図書による。



(4) 容器の名称, 種類, 容量, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料及び個数並びに漏えい防止のための制御方法

a. 高電導度廃液系収集タンク (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)

			変更前	変更後
名称			高電導度廃液系収集タンク (5号機設備, 5, 6, 7号機共用) *1	変更なし
種類	—	たて置円筒形		
容量	m <sup>3</sup> /個	90* <sup>2</sup> (90* <sup>3</sup> )		
最高使用圧力	MPa	静水頭		
最高使用温度	℃	66		
主要寸法	胴内径	mm	4500	
	胴板厚さ	mm	<input type="text"/> * <sup>4</sup> (9.0* <sup>3</sup> )	
	鏡板厚さ	mm	<input type="text"/> * <sup>4</sup> (9.0* <sup>3</sup> )	
	鏡板の形状に係る寸法	mm	4500* <sup>2</sup> (鏡板の中央部における内面の半径)	
			450* <sup>2</sup> (すみの丸みの内半径)	
	平板(屋根)厚さ	mm	6(6* <sup>3</sup> ) * <sup>2</sup>	
	管台外径(液入口* <sup>5</sup> )	mm	165.2* <sup>2</sup>	
	管台厚さ(液入口* <sup>5</sup> )	mm	<input type="text"/> * <sup>4</sup> (7.1* <sup>2</sup> , * <sup>3</sup> )	
	管台外径(液入口* <sup>6</sup> )	mm	165.2* <sup>2</sup>	
	管台厚さ(液入口* <sup>6</sup> )	mm	<input type="text"/> * <sup>4</sup> (7.1* <sup>2</sup> , * <sup>3</sup> )	
	管台外径(オーバーフロー)	mm	216.3* <sup>2</sup>	
	管台厚さ(オーバーフロー)	mm	<input type="text"/> * <sup>4</sup> (8.2* <sup>2</sup> , * <sup>3</sup> )	
	管台外径(液出口)	mm	139.8* <sup>2</sup>	
管台厚さ(液出口)	mm	<input type="text"/> * <sup>4</sup> (6.6* <sup>2</sup> , * <sup>3</sup> )		
高さ* <sup>7</sup>	mm	6406* <sup>8</sup>		
材料	胴板	—	SUS316L	
	鏡板	—	SUS316L	
個数	—	4		
漏えい防止のための制御方法* <sup>9</sup>			液位高による入口弁自動切替回路	

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(1) 高電導度廃液系収集タンク」と記載。

\*2 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

\*3 : 公称値を示す。

- \*4 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和 60 年 6 月 28 日付け 60 資庁第 3007 号にて認可された工事計画の IV-3-5-3-3 「高電導度廃液系収集タンクの強度計算書」による。
- \*5 : 管台符号 N1 を示す。
- \*6 : 管台符号 N2 を示す。
- \*7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。
- \*8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書にはスカートを含めた高さである「7206」と記載。記載内容は、設計図書による。
- \*9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「制御方法」と記載。

b. 高電導度廃液系収集タンク（6号機設備，5,6,7号機共用）

			変更前	変更後
名称			高電導度廃液系収集タンク (6号機設備，5,6,7号機共用) *1	変更なし
種類	—	たて置円筒形		
容量	m <sup>3</sup> /個	125*2(140*3)		
最高使用圧力	MPa	静水頭		
最高使用温度	℃	66		
主要寸法	胴内径	mm	4800	
	胴板厚さ	mm	<input type="text"/> *4(9.0*3)	
	鏡板厚さ	mm	<input type="text"/> *4(9.0*3)	
	鏡板の形状に係る寸法	mm	4800*2 (鏡板の中央部における内面の半径)	
		mm	480*2 (すみの丸みの内半径)	
	平板（屋根）厚さ	mm	6(6*3) *2	
	管台外径（液入口*5）	mm	139.8*2	
	管台厚さ（液入口*5）	mm	6.6(6.6*3) *2	
	管台外径（液入口*6）	mm	114.3*2	
	管台厚さ（液入口*6）	mm	6.0(6.0*3) *2	
	管台外径（オーバーフロー）	mm	165.2*2	
	管台厚さ（オーバーフロー）	mm	<input type="text"/> *4(7.1*2, *3)	
	管台外径（液出口）	mm	165.2*2	
	管台厚さ（液出口）	mm	<input type="text"/> *4(7.1*2, *3)	
高さ*7	mm	8406*8		
材料	胴板	—	SUS316L	
	鏡板	—	SUS316L	
個数	—	3		
漏えい防止のための制御方法*9			液位高による入口弁自動切替回路	

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「(1) 高電導度廃液系収集タンク」と記載。

\*2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

\*3：公称値を示す。

\*4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，平成4年10月13日付け4資庁第8732号にて認可された工事計画のIV-3-4-3-4「高電導度廃液系収集タンクの強度計算書」による。

\*5：管台符号N1を示す。

\*6：管台符号N2を示す。

- \*7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。
- \*8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書にはスカートを含めた高さである「9206」と記載。  
記載内容は、設計図書による。
- \*9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「制御方法」と記載。

(10) 主配管の名称, 最高使用圧力, 最高使用温度, 外径, 厚さ及び材料

変更前							変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
高電導度廃液系	*1 高電導度廃液系放射性 ドレン移送配管合流部 ～ K13-F008	0.98*2	66	114.3*3	6.0*3	SUS316LTP	高電導度廃液系	変更なし				
	高電導度廃液系収集タンク 入口収集管 (床ドレン廃液用) (5号機設備, 5,6,7号機共用)	0.98*2	66	89.1*3	5.5*3	SUS304TP						
				165.2*3	7.1*3	SUS304TP						
	高電導度廃液系収集タンク 入口収集管 (化学廃液用) (5号機設備, 5,6,7号機共用)	0.98*2	66	89.1*3	5.5*3	SUS316LTP						
				165.2*3	7.1*3	SUS316LTP						
	*4 配管取合点 (廃棄物処理建屋 高電導度廃液系, 5号機高電 導度廃液系) (その2) ～ 高電導度廃液系収集タンク 入口収集管 (化学廃液用) (5号機設備, 5,6,7号機共用)	0.98*2	66	89.1*3	5.5*3	SUS316LTP						
	高電導度廃液系収集タンク ～ 高電導度廃液系収集ポンプ (5号機設備, 5,6,7号機共用)	静水頭	66	139.8*3	6.6*3	SUS316LTP						
		0.98*2	66	139.8*3	6.6*3	SUS316LTP						

変 更 前						変 更 後					
名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
高電導度廃液系	*5 高電導度廃液系濃縮装置蒸発缶 ～ 高電導度廃液系濃縮装置蒸発缶出口配管合流部 (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	0.25*2	139	406.4*3	12.7*3	SUS316LTP	高電導度廃液系	変更なし			
	*5 高電導度廃液系濃縮装置蒸発缶出口配管合流部 ～ 高電導度廃液系濃縮装置循環ポンプ (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	0.25*2	139	406.4*3	12.7*3	SUS316LTP					
	*6 高電導度廃液系収集ポンプ ～ 高電導度廃液系収集ポンプ出口配管合流部 (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	0.98*2	66	89.1*3	5.5*3	SUS316LTP					
				114.3*3	6.0*3	SUS316LTP					
				48.6*3	3.7*3	SUS316LTP					
	105	48.6*3	3.7*3	SUS316LTP							
	*6 高電導度廃液系収集ポンプ出口配管合流部 ～ 高電導度廃液系濃縮装置蒸発缶出口配管合流部 (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	0.98*2	105	60.5*3	3.9*3	SUS316LTP					
				0.25*2	139	60.5*3					

変 更 前						変 更 後					
名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
高電導度廃液系	高電導度廃液系 濃縮装置循環ポンプ ～ 高電導度廃液系 濃縮装置加熱器 (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	0.25*2	139	355.6*3	11.1*3	SUS316LTP	高電導度廃液系	変更なし			
	高電導度廃液系収集ポンプ*7 出口配管合流部 ～ K13-F190A, B (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	0.98*2	105	60.5*3	3.9*3	SUS316LTP					
	高電導度廃液系 濃縮装置蒸発缶 ～ 高電導度廃液系 濃縮装置デミスタ (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	0.25*2	139	355.6*3	11.1*3	SUS316LTP					
	高電導度廃液系 濃縮装置デミスタ ～ 高電導度廃液系 濃縮装置復水器 (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	静水頭	105	355.6*3	11.1*3	SUS304TP					
	高電導度廃液系 濃縮装置復水器 ～ 高電導度廃液系蒸留水タンク (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	静水頭	66	76.3*3	5.2*3	SUS304TP					
114.3*3	6.0*3			SUS304TP							

変 更 前						変 更 後						
名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
高電導度廃液系	高電導度廃液系蒸留水タンク ～ 高電導度廃液系蒸留水ポンプ (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	静水頭	66	60.5 <sup>*3</sup>	3.9 <sup>*3</sup>	SUS304TP	高電導度廃液系	変更なし				
	高電導度廃液系蒸留水ポンプ ～ 高電導度廃液系蒸留水ポンプ 出口配管合流部 (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	0.98 <sup>*2</sup>	66	60.5 <sup>*3</sup>	3.9 <sup>*3</sup>	SUS304TP						
	高電導度廃液系蒸留水ポンプ ～ 高電導度廃液系蒸留水ポンプ 出口配管合流部 (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	0.98 <sup>*2</sup>	66	34.0 <sup>*3</sup>	3.4 <sup>*3</sup>	SUS304TP						
	高電導度廃液系蒸留水ポンプ ～ 高電導度廃液系蒸留水ポンプ 出口配管合流部 (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	0.98 <sup>*2</sup>		66	48.6 <sup>*3</sup>	3.7 <sup>*3</sup>						
	高電導度廃液系蒸留水ポンプ ～ 高電導度廃液系脱塩塔 (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	0.98 <sup>*2</sup>	66	48.6 <sup>*3</sup>	3.7 <sup>*3</sup>	SUS304TP						
	高電導度廃液系脱塩塔 ～ 高電導度廃液系脱塩塔 出口配管分岐部 (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	0.98 <sup>*2</sup>		66	114.3 <sup>*3</sup>	6.0 <sup>*3</sup>						
	高電導度廃液系脱塩塔 ～ 高電導度廃液系脱塩塔 出口配管分岐部 (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	0.98 <sup>*2</sup>	66	48.6 <sup>*3</sup>	3.7 <sup>*3</sup>	SUS304TP						
	高電導度廃液系脱塩塔 ～ 高電導度廃液系サンプル槽 (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	0.98 <sup>*2</sup>		66	48.6 <sup>*3</sup>	3.7 <sup>*3</sup>						
高電導度廃液系脱塩塔 ～ 高電導度廃液系サンプル槽 (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	0.98 <sup>*2</sup>	66	114.3 <sup>*3</sup>	6.0 <sup>*3</sup>	SUS304TP							



変 更 前						変 更 後						
名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
高 電 導 度 廃 液 系	*10 高電導度廃液系脱塩塔 出口配管分岐部 ～ 高電導度廃液系蒸留水ポンプ 出口配管合流部 (5号機設備, 5, 6, 7号機共 用)	0.98*2	66	48.6*3	3.7*3	SUS304TP	高 電 導 度 廃 液 系	変更なし				
	*11 高電導度廃液系脱塩塔 ～ 高電導度廃液系 (5号機設備, 5, 6, 7号機共 用)	0.98*2	66	60.5*3	3.9*3	SUS304TP						
	高電導度廃液系サンプル槽 ～ 高電導度廃液系 サンプルポンプ (5号機設備, 5, 6, 7号機共 用)	静水頭	66	114.3*3	6.0*3	SUS304TP						
		0.98*2	66	114.3*3	6.0*3	SUS304TP						
				89.1*3	5.5*3	SUS304TP						
	*12 高電導度廃液系 サンプルポンプ ～ 高電導度廃液系サンプル ポンプ出口配管分岐部 (5号機設備, 5, 6, 7号機共 用)	0.98*2	66	60.5*3	3.9*3	SUS304TP						
				76.3*3	5.2*3	SUS304TP						

変 更 前						変 更 後					
名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
高電導度廃液系	*12 高電導度廃液系サンプル ポンプ出口配管分岐部 ～ 高電導度廃液系貯留槽 入口配管分岐部 (5号機設備, 5, 6, 7号機共 用)	0.98*2	66	76.3*3	5.2*3	SUS304TP	高電導度廃液系	変更なし			
	*12 高電導度廃液系貯留槽 入口配管分岐部 ～ K13-F072A, B (5号機設備, 5, 6, 7号機共 用)	0.98*2	66	60.5*3	3.9*3	SUS304TP					
	*12, *13 K13-F072A, B ～ 高電導度廃液系貯留槽 (5号機設備, 5, 6, 7号機共 用)	0.98*2	66	60.5*3	3.9*3	SUS304TP					
	*14 高電導度廃液系貯留槽 入口配管分岐部 ～ 配管取合点 (5号機高電導度 廃液系, 廃棄物処理建屋高電 導度廃液系) (その1) (5号機設備, 5, 6, 7号機共 用)	0.98*2	66	89.1*3	5.5*3	SUS304TP					
	*15 高電導度廃液系サンプル ポンプ出口配管分岐部 ～ K12-F058 出口配管合流部 (5 号機設備, 5, 6, 7号機共用)	0.98*2	66	76.3*3	5.2*3	SUS304TP					

変 更 前						変 更 後					
名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
高 電 導 度 廃 液 系	*16 K13-F024 ～ 高電導度廃液系収集タンク (6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	0.98*2	66	114.3*3	6.0*3	SUS304TP	高 電 導 度 廃 液 系	変更なし			
				139.8*3	6.6*3	SUS304TP					
	高電導度廃液系収集タンク 入口収集管 (化学廃液用) (6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	0.98*2	66	114.3*3	6.0*3	SUS316LTP					
	高電導度廃液系収集タンク ～ 高電導度廃液系収集ポンプ (6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	静水頭	66	165.2*3	7.1*3	SUS316LTP					
		0.98*2	66	165.2*3	7.1*3	SUS316LTP					
	*5 高電導度廃液系 濃縮装置蒸発缶 ～ 高電導度廃液系濃縮装置 蒸発缶出口配管合流部 (6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	0.25*2	139	355.6*3	11.1*3	SUS316LTP					
	*5 高電導度廃液系濃縮装置 蒸発缶出口配管合流部 ～ 高電導度廃液系 濃縮装置循環ポンプ (6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	0.25*2	139	77.0*3	7.9*3	SUS316L					
				70.1*3	8.7*3	SUS316L					
	355.6*3			11.1*3	SUS316LTP						

変 更 前						変 更 後						
名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
高電導度廃液系	*6 高電導度廃液系収集ポンプ ～ 高電導度廃液系収集ポンプ 出口配管分岐部 (6号機設備, 5, 6, 7号機共 用)	0.98*2	66	139.8*3	6.6*3	SUS316LTP	高電導度 廃液系	変更なし				
				89.1*3	5.5*3	SUS316LTP						
				40.8*3	6.8*3	SUS316L						
				47.3*3	6.4*3	SUS316L						
	*6 高電導度廃液系収集ポンプ 出口配管分岐部 ～ 濃縮廃液タンク 入口配管分岐部 (6号機設備, 5, 6, 7号機共 用)	0.98*2	66	34.0*3	3.4*3	SUS316LTP						
			139	34.0*3	3.4*3	SUS316LTP						
	*6 濃縮廃液タンク 入口配管分岐部 ～ 高電導度廃液系濃縮装置 蒸発缶出口配管合流部 (6号機設備, 5, 6, 7号機共 用)	0.98*2	139	60.5*3	3.9*3	SUS316LTP						
			139	60.5*3	3.9*3	SUS316LTP						
	*17 高電導度廃液系収集ポンプ 出口配管分岐部 ～ 配管取合点 (廃棄物処理建屋 高電導度廃液系, 5号機高電 導度廃液系) (その2) (6号機設備, 5, 6, 7号機共 用)	0.98*2	66	89.1*3	5.5*3	SUS316LTP						

変 更 前						変 更 後					
名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
高電導度廃液系	高電導度廃液系 濃縮装置循環ポンプ ～ 高電導度廃液系 濃縮装置加熱器 (6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	0.25 <sup>*2</sup>	139	318.5 <sup>*3</sup>	10.3 <sup>*3</sup>	SUS316LTP	高電導度廃液系	変更なし			
	<sup>*15</sup> 濃縮廃液タンク 入口配管分岐部 ～ K13-F058 (6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	0.98 <sup>*2</sup>	139	60.5 <sup>*3</sup>	3.9 <sup>*3</sup>	SUS316LTP					
	高電導度廃液系 濃縮装置蒸発缶 ～ 高電導度廃液系 濃縮装置復水器 (6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	静水頭	105	318.5 <sup>*3</sup>	10.3 <sup>*3</sup>	SUS304TP					
	高電導度廃液系 濃縮装置復水器 ～ 高電導度廃液系蒸留水タンク (6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	静水頭	66	60.5 <sup>*3</sup>	3.9 <sup>*3</sup>	SUS304TP					
	高電導度廃液系蒸留水タンク ～ 高電導度廃液系蒸留水ポンプ (6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	静水頭	66	60.5 <sup>*3</sup>	3.9 <sup>*3</sup>	SUS304TP					
		0.98 <sup>*2</sup>	66	48.6 <sup>*3</sup>	3.7 <sup>*3</sup>	SUS304TP					
	高電導度廃液系蒸留水ポンプ ～ 高電導度廃液系脱塩塔 (6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	0.98 <sup>*2</sup>	66	34.0 <sup>*3</sup>	3.4 <sup>*3</sup>	SUS304TP					
				48.6 <sup>*3</sup>	3.7 <sup>*3</sup>	SUS304TP					

変 更 前						変 更 後						
名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
高電導度廃液系	高電導度廃液系脱塩塔 ～ 高電導度廃液系サンプル槽 (6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	0.98* <sup>2</sup>	66	60.5* <sup>3</sup>	3.9* <sup>3</sup>	高電導度廃液系	変更なし					
	48.6* <sup>3</sup>			3.7* <sup>3</sup>								
	* <sup>18</sup> 高電導度廃液系脱塩塔 ～ 低電導度廃液系 高電導度廃液配管合流部 (6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	0.98* <sup>2</sup>	66	89.1* <sup>3</sup>	5.5* <sup>3</sup>							SUS304TP
	高電導度廃液系サンプル槽 ～ 高電導度廃液系 サンプルポンプ (6号機設備, 5, 6, 7号機共用)											
	* <sup>19</sup> 高電導度廃液系 サンプルポンプ ～ 高電導度廃液系サンプル ポンプ出口配管分岐部 (6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	0.98* <sup>2</sup>	66	89.1* <sup>3</sup>	5.5* <sup>3</sup>							SUS304TP
	* <sup>19</sup> 高電導度廃液系サンプル ポンプ出口配管分岐部 ～ 5号機高電導度廃液系貯留槽 入口配管合流部 (6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	0.98* <sup>2</sup>	66	89.1* <sup>3</sup>	5.5* <sup>3</sup>							SUS304TP
	* <sup>19</sup> 5号機高電導度廃液系貯留槽 入口配管合流部 ～ K13-F145 (6号機設備, 5, 6, 7号機共用)											

変 更 前						変 更 後					
名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
高電導度廃液系	*20 高電導度廃液系サンプル ポンプ出口配管分岐部 ～ K13-F120 (6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	0.98*2	66	89.1*3	5.5*3	SUS304TP	高電導度廃液系	変更なし			
	*13, *20 K13-F120 ～ 放出カナル (6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	0.98*2	66	89.1*3	5.5*3	STPT410*21					
	*22 配管取合点 (5号機高電導度廃液系, 廃棄物処理建屋高電導度廃液系) (その1) ～ 5号機高電導度廃液系貯留槽 入口配管合流部 (6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	0.98*2	66	114.3*3	6.0*3	STPT410*21					

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水脱塩装置ドレンストレーナより第6号機高電導度廃液系収集タンクへ」と記載。

\*2 : SI 単位に換算したものである。

\*3 : 公称値を示す。

\*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「後続号機取合点から高電導度廃液系収集タンク入口収集管 (化学廃液用) まで」と記載。

\*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「高電導度廃液系濃縮装置蒸発缶から高電導度廃液系濃縮装置循環ポンプまで」と記載。

\*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「高電導度廃液系収集ポンプから蒸発缶出口配管まで」と記載。

\*7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「収集ポンプ出口配管から濃縮廃液系まで」と記載。

\*8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「高電導度廃液系蒸留水ポンプから高電導度廃液系脱塩塔まで」と記載。

\*9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「高電導度廃液系脱塩塔から高電導度廃液系サンプル槽まで」と記載。

\*10 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「脱塩塔出口配管から脱塩塔入口配管まで」と記載。

\*11 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「高電導度廃液系脱塩塔から廃スラッジ系まで」と記載。

\*12 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「高電導度廃液系サンプルポンプから高電導度廃液系貯留槽まで」と記載。

\*13 : 本設備は記載の適正化のみを行うものであり、手続き対象外である。

\*14 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「貯留槽入口配管から後続号機取合点まで」と記載。

\*15 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「貯留槽入口配管から低電導度廃液系まで」と記載。

\*16 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「高電導度廃液系収集タンク入口収集管 (床ドレン廃液用)」と記載。

\*17 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「収集ポンプ出口配管から第5号機高電導度廃液系収集タンクへ」と記載。

- \*18：記載の適正化を行う。既工事計画書には「高電導度廃液系脱塩塔から低電導度廃液系へ」と記載。
- \*19：記載の適正化を行う。既工事計画書には「高電導度廃液系サンプルポンプから低電導度廃液系へ」と記載。
- \*20：記載の適正化を行う。既工事計画書には「サンプルポンプ出口配管から放出カナルへ」と記載。
- \*21：記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT42」と記載。記載内容は、設計図書による。
- \*22：記載の適正化を行う。既工事計画書には「第5号機高電導度廃液系よりサンプルポンプ出口配管まで」と記載。



2.2.4 圧力抑制室プール水排水系

(10) 主配管の名称, 最高使用圧力, 最高使用温度, 外径, 厚さ及び材料

変 更 前						変 更 後					
名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
圧 力 抑 制 室 プ ール 水 排 水 系	U49-F071 <sup>*1</sup> ～ U49-F072	1.72 <sup>*2</sup>	66	165.2 <sup>*3</sup>	7.1 <sup>*3</sup>	SUS304TP	圧 力 抑 制 室 プ ール 水 排 水 系	変 更 な し			
	圧力抑制室プール水サージ タンク室入口 ～ 圧力抑制室プール水 サージポンプ出口配管合流部 (5号機設備, 5,6,7号機共 用)	0.98 <sup>*2</sup>	66	165.2 <sup>*3</sup>	7.1 <sup>*3</sup>	SUS304TP					
	圧力抑制室プール水 <sup>*4</sup> サージポンプ出口配管合流部 ～ 圧力抑制室プール水 サージタンク (5号機設備, 5,6,7号機共 用)	0.98 <sup>*2</sup>	66	165.2 <sup>*3</sup>	7.1 <sup>*3</sup>	SUS304TP					
	圧力抑制室プール水 サージタンク ～ 圧力抑制室プール水 サージポンプ (5号機設備, 5,6,7号機共 用)	静水頭	66	165.2 <sup>*3</sup>	7.1 <sup>*3</sup>	SUS304TP					
		0.98 <sup>*2</sup>	66	165.2 <sup>*3</sup>	7.1 <sup>*3</sup>	SUS304TP					

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
圧力抑制室プール水排水系	*5 圧力抑制室プール水サージポンプ ～ 圧力抑制室プール水サージポンプ出口配管合流部 (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	0.98*2	66	139.8*3	6.6*3	SUS304TP	圧力抑制室プール水排水系	変更なし				
	*6 E11-F047 ～ 圧力抑制室プール水サージタンク室入口配管合流部 (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	0.98*2	66	165.2*3	7.1*3	STPT42						
	165.2*3			7.1*3	SUS304TP							
	*6 圧力抑制室プール水サージタンク室入口配管合流部 ～ 圧力抑制室プール水サージタンク室入口 (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	1.96*2	66	165.2*3	7.1*3	STPT42						
	0.98*2			66	165.2*3	7.1*3						SUS304TP
*7 配管取合点 (6号機圧力抑制室プール水排水系, 5号機圧力抑制室プール水排水系) ～ 圧力抑制室プール水サージタンク室入口配管合流部 (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	0.98*2	66	165.2*3	7.1*3	SUS304TP							

変 更 前						変 更 後					
名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
圧 力 抑 制 室 プ ール 水 排 水 系	U49-F061 <sup>*8</sup> ～ U49-F062 入口配管分岐部 (6号機設備, 6,7号機共用)	1.72 <sup>*2</sup>	66	165.2 <sup>*3</sup>	7.1 <sup>*3</sup>	SUS304TP	圧 力 抑 制 室 プ ール 水 排 水 系	変更なし			
	U49-F062 入口配管分岐部 ～ 配管取合点 (6号機圧力抑制 室プール水排水系, 5号機圧 力抑制室プール水排水系) (6号機設備, 6,7号機共用)	0.98 <sup>*2</sup>	66	165.2 <sup>*3</sup>	7.1 <sup>*3</sup>	SUS304TP					
	U49-F072 <sup>*9</sup> ～ U49-F062 入口配管分岐部 (6号機設備, 6,7号機共用)	1.72 <sup>*2</sup>	66	165.2 <sup>*3</sup>	7.1 <sup>*3</sup>	SUS304TP					
	U49-F062 入口配管分岐部 (6号機設備, 6,7号機共用)	0.98 <sup>*2</sup>	66	165.2 <sup>*3</sup>	7.1 <sup>*3</sup>	SUS304TP					

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「残留熱除去系より第6号機圧力抑制室プール水排水系へ」と記載。

\*2 : SI 単位に換算したものである。

\*3 : 公称値を示す。

\*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「屋外取合点から圧力抑制室プール水サージタンクまで」と記載。

\*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「圧力抑制室プール水サージポンプからサージタンク入口配管まで」と記載。

\*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「残留熱除去系から屋外取合点まで」と記載。

\*7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「後続号機取合点からサージタンク入口配管まで」と記載。

\*8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「残留熱除去系より第5号機圧力抑制室プール水排水系へ」と記載。

\*9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「第7号機取合点よりサージタンク入口配管まで」と記載。

2.3 固体廃棄物処理系

2.3.1 廃スラッジ系

(4) 容器の名称, 種類, 容量, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料及び個数並びに漏えい防止のための制御方法

a. 復水浄化系逆洗水受タンク

			変更前	変更後
名 称			復水浄化系逆洗水受タンク*1	
種 類	—	たて置円筒形		
容 量	m <sup>3</sup>	50*2(50*3)		
最 高 使 用 圧 力	MPa	静水頭		
最 高 使 用 温 度	℃	66		
主 要 寸 法	胴 内 径	mm	3200	
	胴 板 厚 さ	mm	□*4(12.0*3)	
	鏡 板 厚 さ	mm	□*4(12.0*3)	
	鏡板の形状に係る寸法	mm	3200*2 (鏡板の中央部における内面の半径)	
			320*4 (すみの丸みの内半径)	
	平板 (屋根) 厚さ	mm	9.0(9.0*3) <sup>*2</sup>	
	管台外径 (液入口)	mm	406.4*2	
	管台厚さ (液入口)	mm	□(12.0*3) <sup>*4</sup>	
	管台外径 (液出口)	mm	165.2*2	
	管台厚さ (液出口)	mm	□(7.1*3) <sup>*4</sup>	
高 さ*5	mm	7791*6		
材 料	胴 板	—	SUS304	
	鏡 板	—	SUS304	
個 数	—	1		
漏えい防止のための制御方法*7		—	液位高による受入自動阻止回路 液位高高による受入自動停止回路	

変更なし

K7 ① II R0

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「(2) 復水浄化系逆洗水受タンク」と記載。

\*2 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

\*3 : 公称値を示す。

\*4 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 平成4年3月27日付け3資庁第13034号にて認可された工事計画のIV-3-3-2-2「復水浄化系逆洗水受タンクの強度計算書」による。

\*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。

\*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には支持脚を含めた高さである「8719」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「制御方法」と記載。

b. 焼却炉建屋廃スラッジタンク（5号機設備，5,6,7号機共用）

			変更前	変更後
名 称			焼却炉建屋廃スラッジタンク (5号機設備，5,6,7号機共用) *1	変更なし
種 類	—	たて置円筒形		
容 量	m <sup>3</sup>	39*2(40*3)		
最 高 使 用 圧 力	MPa	静水頭		
最 高 使 用 温 度	℃	66		
主 要 寸 法	胴 内 径	mm	3000	
	胴 板 厚 さ	mm	<input type="text"/> *4(8.0*3)	
	鏡 板 厚 さ	mm	<input type="text"/> *4(8.0*3)	
	鏡板の形状に係る寸法	mm	3000*2 (鏡板の中央部における内面の半径)	
			300*2 (すみの丸みの内半径)	
	平 板 ( 屋 根 ) 厚 さ	mm	8.0(8.0*3) *2	
	管台外径 (廃スラッジ入口*5)	mm	60.5 *2	
	管台厚さ (廃スラッジ入口*5)	mm	<input type="text/"/> (3.90*3) *4	
	管台外径 (廃スラッジ入口*6)	mm	60.5 *2	
	管台厚さ (廃スラッジ入口*6)	mm	<input type="text/"/> (3.90*3) *4	
	管台外径 (廃スラッジ出口)	mm	114.3*2	
	管台厚さ (廃スラッジ出口)	mm	<input type="text/"/> (6.00*3) *4	
	高 さ*7	mm	7238*8	
材 料	胴 板	—	SUS304	
	鏡 板	—	SUS304	
個 数	—	1		
漏えい防止のための制御方法*9		—	液位高による受入自動阻止回路 液位高高による受入自動停止回路	

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「(2) 焼却炉建屋廃スラッジタンク」と記載。

\*2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

\*3：公称値を示す。

\*4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，平成15年2月21日付け平成14・11・07原第11号にて認可された工事計画のV-3-1-2-1「焼却炉建屋廃スラッジタンクの強度計算書」による。

- \*5 : 管台符号 N-1 を示す。
- \*6 : 管台符号 N-2 を示す。
- \*7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。
- \*8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には支持脚を含めた高さである「8038」と記載。記載内容は、設計図書による。
- \*9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「制御方法」と記載。

(10) 主配管の名称, 最高使用圧力, 最高使用温度, 外径, 厚さ及び材料

変 更 前						変 更 後						
名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
廃 ス ラ ッ ジ 系	原子炉冷却材浄化系 逆洗水受タンク ～ 原子炉冷却材浄化系 逆洗水移送ポンプ	静水頭	66	114.3*1	6.0*1	SUS304TP	廃 ス ラ ッ ジ 系	変更なし				
		1.37*2	66	114.3*1	6.0*1	SUS304TP						
	*3 原子炉冷却材浄化系 逆洗水移送ポンプ ～ 廃スラッジ系 原子炉建屋貫通部	1.37*2	66	89.1*1	5.5*1	SUS304TP						
				60.5*1	3.9*1	SUS304TP						
				76.3*1	5.2*1	SUS304TP						
	復水浄化系逆洗水受タンク ～ 復水浄化系 逆洗水移送ポンプ	1.37*2	66	48.6*1	3.7*1	SUS304TP						
				165.2*1	7.1*1	SUS304TP						
				165.2*1	7.1*1	SUS304TP						
	*4 復水浄化系 逆洗水移送ポンプ ～ 廃スラッジ系 タービン建屋貫通部	1.37*2	66	139.8*1	6.6*1	SUS304TP						
				89.1*1	5.5*1	SUS304TP						
				114.3*1	6.0*1	SUS304TP						
				139.8*1	6.6*1	SUS304TP						
*5 廃スラッジ系 原子炉建屋貫通部 ～ K21-F171	1.37*2	66	76.3*1	5.2*1	SUS304TP							
			48.6*1	3.7*1	SUS304TP							



変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
廃スラッジ系	*6 廃スラッジ系 タービン建屋貫通部 ～ K21-F173	1.37*2	66	76.3*1	5.2*1	SUS304TP	廃スラッジ系	変更なし				
	*7 廃スラッジ系受ポンプ ～ K21-F220A, B (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	0.98	66	60.5*1	3.9*1	SUS304TP						
				89.1*1	5.5*1	SUS304TP						
		1.37	66	60.5*1	3.9*1	SUS304TP						
	*7 K21-F220A, B ～ 乾燥機給液タンク (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	1.37	66	60.5*2	3.9*2	SUS304TP						
				60.5*1	3.9*1	SUSF304						
	*8 K21-F220A, B ～ K21-F223A, B (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	1.37*2	66	60.5*1	3.9*1	SUS304TP						
*8 K21-F223A, B ～ 配管取合点 (5号機廃スラッジ系, 焼却炉建屋廃スラッジ系) (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	1.37*2	66	60.5*1	3.9*1	SUS304TP							

変 更 前						変 更 後						
名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
廃 ス ラ ッ ジ 系	*9 配管取合点 (廃棄物処理建屋 廃スラッジ系, 5号機廃スラ ッジ系) ～ K21-F223A, B (5号機設備, 5, 6, 7号機共 用)	1.37*2	66	60.5*1	3.9*1	SUS304TP	廃 ス ラ ッ ジ 系	変更なし				
	*10 配管取合点 (5号機廃スラッ ジ系, 焼却炉建屋廃スラッジ 系) ～ K21-F401A, B (5号機設備, 5, 6, 7号機共 用)	1.37	66	60.5*1	3.9*1	SUS304TP						
	*10 K21-F401A, B ～ 焼却炉建屋 廃スラッジタンク (5号機設備, 5, 6, 7号機共 用)	1.37	66	60.5*1	3.9*1	SUS304TP						
	*11 焼却炉建屋 廃スラッジタンク ～ 焼却炉建屋 廃スラッジタンク 出口配管合流部 (5号機設備, 5, 6, 7号機共 用)	静水頭	66	114.3*1	6.0*1	SUS304TP						
		1.37	66	114.3*1	6.0*1	SUS304TP						

変 更 前						変 更 後						
名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
廃 ス ラ ッ ジ 系	*11 焼却炉建屋 廃スラッジタンク 出口配管合流部 ～ 焼却炉建屋 廃スラッジポンプ (5号機設備, 5, 6, 7号機共 用)	1.37	66	114.3*1	6.0*1	SUS304TP	廃 ス ラ ッ ジ 系	変更なし				
				139.8*1	6.6*1	SUS304TP						
	*12 焼却炉建屋 廃スラッジポンプ ～ 焼却炉建屋 廃スラッジポンプ 出口配管分岐部 (5号機設備, 5, 6, 7号機共 用)	1.37	66	114.3*1	6.0*1	SUS304TP						
				*12 焼却炉建屋 廃スラッジポンプ 出口配管分岐部 ～ 焼却炉建屋 廃スラッジ供給ポンプ (5号機設備, 5, 6, 7号機共 用)	1.37	66						
	48.6*1	3.7*1	SUS304TP									
	*12 焼却炉建屋 廃スラッジ供給ポンプ ～ 雑固体系焼却炉 (5号機設備, 5, 6, 7号機共 用)	1.37	66	17.3*1	3.2*1	SUS304TP						
				21.7*1	3.7*1	SUS304TP						

変 更 前						変 更 後						
名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
廃スラッジ系	*13 K21-F401A, B ～ 焼却炉建屋 廃スラッジポンプ 出口配管分岐部 (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	1.37	66	60.5*1	3.9*1	SUS304TP	廃スラッジ系	変更なし				
	*14 焼却炉建屋 廃スラッジタンクデカント部 ～ 焼却炉建屋 廃スラッジタンク 出口配管合流部 (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	静水頭	66	60.5*1	3.9*1	SUS304TP						
	*15 廃スラッジ系 原子炉建屋貫通部 ～ 原子炉冷却材浄化系 粉末樹脂沈降分離槽 (6号機設備, 6, 7号機共用)	1.37*2	66	76.3*1	5.2*1	SUS304TP						
	*16 廃スラッジ系 タービン建屋貫通部 ～ 原子炉冷却材浄化系 粉末樹脂沈降分離槽 (6号機設備, 6, 7号機共用)	1.37*2	66	76.3*1	5.2*1	SUS304TP						

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
廃スラッジ系	*17 K21-F171 ～ 原子炉冷却材浄化系 粉末樹脂沈降分離槽 (6号機設備, 6,7号機共用)	1.37*2	66	48.6*1	3.7*1	SUS304TP	廃スラッジ系	変更なし				
	*18 K21-F173 ～ 原子炉冷却材浄化系 粉末樹脂沈降分離槽 (6号機設備, 6,7号機共用)	1.37*2	66	76.3*1	5.2*1	SUS304TP						
	*19 K21-F105 ～ 原子炉冷却材浄化系 粉末樹脂沈降分離槽 (6号機設備, 6,7号機共用)	0.98*2	66	76.3*1	5.2*1	SUS304TP						
	原子炉冷却材浄化系 粉末樹脂沈降分離槽 ～ 原子炉冷却材浄化系 粉末樹脂沈降分離槽 デカントポンプ (6号機設備, 6,7号機共用)	静水頭	66	60.5*1	5.5*1	STPT370*20						
	原子炉冷却材浄化系 粉末樹脂沈降分離槽 デカントポンプ ～ 原子炉冷却材浄化系 粉末樹脂沈降分離槽 デカントポンプ 出口配管合流部 (6号機設備, 6,7号機共用)	0.98*2	66	48.6*1	5.1*1	STPT370*20						
	原子炉冷却材浄化系 粉末樹脂沈降分離槽 デカントポンプ 出口配管合流部 (6号機設備, 6,7号機共用)	0.98*2	66	60.5*1	5.5*1	STPT370*20						

変 更 前						変 更 後					
名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
廃 ス ラ ッ ジ 系	*22 K21-F202 ～ 使用済樹脂槽 (6号機設備, 6,7号機共用)	0.98*2	66	89.1*1	5.5*1	SUS304TP	廃 ス ラ ッ ジ 系	変更なし			
	*23 K21-F201 ～ 使用済樹脂槽 (6号機設備, 6,7号機共用)	0.98*2	66	114.3*1	6.0*1	SUS304TP					
	使用済樹脂槽 ～ 使用済樹脂槽 デカントポンプ (6号機設備, 6,7号機共用)	静水頭	66	60.5*1	5.5*1	STPT370*20					
	使用済樹脂槽 デカントポンプ ～ 低電導度廃液系収集槽 入口収集管 (6号機設備, 6,7号機共用)	0.98*2	66	60.5*1	5.5*1	STPT370*20					
	*24 原子炉冷却材浄化系 粉末樹脂沈降分離槽 ～ スラッジ移送ポンプ 入口配管合流部 (6号機設備, 6,7号機共 用)	静水頭	66	60.5*1	3.9*1	SUS304TP					
		1.37*2	66	60.5*1	3.9*1	SUS304TP					

変 更 前						変 更 後						
名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
廃スラッジ系	*24 スラッジ移送ポンプ 入口配管合流部 ～ スラッジ移送ポンプ (6号機設備, 6,7号機共用)	1.37*2	66	60.5*1	3.9*1	SUS304TP	廃スラッジ系	変更なし				
	*25 使用済樹脂槽 ～ スラッジ移送ポンプ 入口配管合流部 (6号機設備, 6,7号機共用)	静水頭	66	60.5*1	3.9*1	SUS304TP						
	*26 スラッジ移送ポンプ ～ スラッジ移送ポンプ 出口配管分岐部 (6号機設備, 6,7号機共用)	1.37*2	66	34.0*1	3.4*1	SUS304TP						
	60.5*1			3.9*1	SUS304TP							
	*26 スラッジ移送ポンプ 出口配管分岐部 ～ 配管取合点 (廃棄物処理建屋 廃スラッジ系, 5号機廃スラ ッジ系) (6号機設備, 6,7号機共用)	1.37*2	66	60.5*1	3.9*1	SUS304TP						

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
廃スラッジ系	*27 スラッジ移送ポンプ 出口配管分岐部 ～ 原子炉冷却材浄化系 粉末樹脂沈降分離槽 デカントポンプ 出口配管合流部 (6号機設備, 6,7号機共用)	1.37*2	66	60.5*1	3.9*1	SUS304TP	廃スラッジ系	変更なし				
	原子炉冷却材浄化系 粉末樹脂沈降分離槽 デカントポンプ 出口配管合流部 (6号機設備, 6,7号機共用)	0.98*2	66	60.5*1	5.5*1	STPT370*20						
	*27 原子炉冷却材浄化系 粉末樹脂沈降分離槽 デカントポンプ 出口配管合流部 ～ 低電導度廃液系収集槽 入口収集管 (6号機設備, 6,7号機共用)	0.98*2	66	60.5*1	5.5*1	STPT370*20						

注記\*1 : 公称値を示す。

\*2 : SI 単位に換算したものである。

\*3 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉冷却材浄化系逆洗水移送ポンプから第6号機原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽へ」と記載。

\*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水浄化系逆洗水移送ポンプから第6号機原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽へ」と記載。

\*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉冷却材浄化系逆洗水移送ポンプより第6号機原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽へ」と記載。

\*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水浄化系逆洗水移送ポンプより第6号機原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽へ」と記載。

\*7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「廃スラッジ系受ポンプから固化系まで」と記載。

\*8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「廃スラッジ系受ポンプ出口配管から後続設備取合点まで」と記載。

\*9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「後続設備接続配管から後続号機取合点まで」と記載。

\*10 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「後続設備接続配管から焼却炉建屋廃スラッジタンク」と記載。

\*11 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「焼却炉建屋廃スラッジタンクから焼却炉建屋廃スラッジポンプ」と記載。

\*12 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「焼却炉建屋廃スラッジポンプから焼却炉建屋廃スラッジ供給ポンプ」と記載。

\*13 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「焼却炉建屋廃スラッジポンプ出口配管から焼却炉建屋廃スラッジタンク入口配管」と記載。

\*14 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「焼却炉建屋廃スラッジタンクから焼却炉建屋廃スラッジポンプ入口配管」と記載。

\*15 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉冷却材浄化系逆洗水移送ポンプより原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽まで」と記載。

\*16 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水浄化系逆洗水移送ポンプより原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽まで」と記載。

\*17 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「第7号機原子炉冷却材浄化系逆洗水移送ポンプより原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽まで」と記載。



- \*18：記載の適正化を行う。既工事計画書には「第7号機復水浄化系逆洗水移送ポンプより原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽まで」と記載。
- \*19：記載の適正化を行う。既工事計画書には「低電導度廃液系より原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽まで」と記載。
- \*20：記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT38」と記載。記載内容は、設計図書による。
- \*21：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽デカントポンプからデカント水戻り配管まで」と記載。
- \*22：記載の適正化を行う。既工事計画書には「低電導度廃液系より使用済樹脂槽まで」と記載。
- \*23：記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水浄化系及び第7号機復水浄化系より使用済樹脂槽まで」と記載。
- \*24：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽からスラッジ移送ポンプまで（予備配管を含む。）」と記載。
- \*25：記載の適正化を行う。既工事計画書には「使用済樹脂槽からスラッジ移送ポンプ入口配管まで」と記載。
- \*26：記載の適正化を行う。既工事計画書には「スラッジ移送ポンプから第5号機廃スラッジ系へ（予備配管を含む。）」と記載。
- \*27：記載の適正化を行う。既工事計画書には「スラッジ移送ポンプ出口配管から低電導度廃液系収集槽入口収集管まで」と記載。

2.3.2 濃縮廃液系

(10) 主配管の名称, 最高使用圧力, 最高使用温度, 外径, 厚さ及び材料

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
濃 縮 廃 液 系	*1 K13-F190A, B ～ 濃縮廃液タンク (5号機設備, 5, 6, 7号機共 用)	0.98*2	105	60.5*3	3.9*3	SUS316LTP	濃 縮 廃 液 系	変更なし			
	濃縮廃液タンク ～ 濃縮廃液ポンプ (5号機設備, 5, 6, 7号機共 用)	静水頭	100	114.3*3	6.0*3	SUS316LTP					
		0.98*2	100	114.3*3	6.0*3	SUS316LTP					
				139.8*3	6.6*3	SUS316LTP					
	*4 濃縮廃液ポンプ ～ 乾燥機給液タンク (5号機設備, 5, 6, 7号機共 用)	0.98*2	100	89.1*3	5.5*3	SUS316LTP					
				48.6*3	3.7*3	SUS316LTP					
				48.6*3	3.7*3	SUSF316L					
	66	48.6*3	3.7*3	SUS316LTP							
	*5 配管取合点 (廃棄物処理建屋 濃縮廃液系, 5号機固化系) ～ 乾燥機給液タンク (5号機設備, 5, 6, 7号機共 用)	1.37*2	66	48.6*3	3.7*3	SUS316LTP					
	*1 K13-F058 ～ 濃縮廃液タンク (6号機設備, 5, 6, 7号機共 用)	0.98*2	105	60.5*3	3.9*3	SUS316LTP					

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
濃縮廃液系	濃縮廃液タンク ～ 濃縮廃液ポンプ (6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	静水頭	100	114.3 <sup>*3</sup>	6.0 <sup>*3</sup>	SUS316LTP	濃縮廃液系	変更なし				
		1.37 <sup>*2</sup>	100	114.3 <sup>*3</sup>	6.0 <sup>*3</sup>	SUS316LTP						
	濃縮廃液ポンプ <sup>*6</sup> ～ 配管取合点 (廃棄物処理建屋 濃縮廃液系, 5号機固化系) (6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	100	89.1 <sup>*3</sup>	5.5 <sup>*3</sup>	SUS316LTP							
			48.6 <sup>*3</sup>	3.7 <sup>*3</sup>	SUS316LTP							
		66	48.6 <sup>*3</sup>	3.7 <sup>*3</sup>	SUS316LTP							

- 注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「高電導度廃液系から濃縮廃液タンクまで」と記載。  
 \*2 : SI 単位に換算したものである。  
 \*3 : 公称値を示す。  
 \*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「濃縮廃液ポンプから固化系まで」と記載。  
 \*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「後続号機取合点から固化系まで」と記載。  
 \*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「濃縮廃液ポンプから第5号機濃縮廃液系へ」と記載。

## 2.4 排気筒

(16) 排気筒の名称, 種類, 主要寸法, 材料及び個数 (内筒及び外筒の別に記載すること。)

### a. 主排気筒

			変 更 前	変 更 後
名 称			主排気筒* <sup>1</sup>	主排気筒* <sup>2</sup>
種	類	—	四角鉄塔支持形鋼管構造 (制震装置付 [減衰係数: $1.2 \times 10^5 \text{N} \cdot \text{s}/\text{m}$ ]) (原子炉建屋屋上設置) 外筒: 換気空調系用 内筒: 非常用ガス処理系用	変更なし
主要寸法	内 径	m	外筒: 2.4 内筒: 0.3	
	地 表 上 の 高 さ	m	外筒: 73 内筒: 73	
材	料	—	外筒: SMA400AP* <sup>3</sup> 内筒: STPT410* <sup>4</sup>	
個	数	—	外筒: 1 内筒: 1	

注記\*1 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「排気筒」と記載。記載内容は, 設計図書による。

\*2 : 主排気筒 (内筒) は原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備 (耐圧強化ベント系), 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 (非常用ガス処理系, 耐圧強化ベント系) と兼用。

\*3 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SMA41A」と記載。記載内容は, 設計図書による。

\*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT42」と記載。記載内容は, 設計図書による。

3 堰その他の設備に係る次の事項

(2) 原子炉格納容器本体外に設置される流体状の放射性廃棄物を内包する容器からの流体状の放射性廃棄物の施設外への漏えいを防止するために施設する堰（放射性廃棄物運搬用容器にあっては、流体状の放射性廃棄物の施設外への漏えいを防止するために施設する設備）の名称、主要寸法、材料及び取付箇所並びに床面及び壁面の塗装の範囲及び材料

a. 廃棄物処理建屋 1 階トラック室出入口（6 号機設備，5, 6, 7 号機共用）

			変 更 前	変 更 後
名 称			廃棄物処理建屋 1 階 トラック室出入口 (6 号機設備, 5, 6, 7 号機 共用) *1	廃棄物処理建屋 1 階 トラック室出入口 (6 号機設備, 5, 6, 7 号機 共用) *2
種 類*3			—	止水堰
主要寸法	堰 の 高 さ	mm	200 以上*4	変更なし 400 以上*5
床面及び壁面の塗装の範囲*6			—	変更なし
材 料	堰	—	鉄筋コンクリート	
	床面及び壁面の塗装*6	—	エポキシ樹脂	
取 付 箇 所	系 統 名	—	—	
	設 置 床	—	廃棄物処理建屋 T. M. S. L. 12300mm *7	
	浸水防護上の 区 画 番 号	—	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	

注記\*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「第 5, 6, 7 号機共用，第 6 号機で申請済」と記載。

\*2：その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備と兼用。

\*3：その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備に使用する場合の記載事項。

\*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「20cm 以上」と記載。

\*5：その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備で使用する場合の値。

\*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「床・壁の塗装」と記載。

\*7 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「廃棄物処理建屋 1 階」と記載。

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(1/15)

			変更前				変更後						
設備区分	系統名	機器区分	名称	設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1		名称	設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1		
				耐震重要度 分類	機器 クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス		耐震重要度 分類	機器 クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス	
廃棄物貯蔵設備 気体、液体又は固体	濃縮廃液系	容器	濃縮廃液タンク(5号機設備, 5,6,7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	
			濃縮廃液タンク(6号機設備, 5,6,7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
気体、液体又は固体廃棄物処理設備	気体廃棄物処理系	主配管	N21-F124, 125～気体廃棄物処理系排ガス予熱器	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	
			気体廃棄物処理系排ガス予熱器～気体廃棄物処理系排ガス再結合器	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			気体廃棄物処理系排ガス再結合器～気体廃棄物処理系排ガス復水器	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			気体廃棄物処理系排ガス復水器～気体廃棄物処理系除湿冷却器	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			気体廃棄物処理系除湿冷却器～気体廃棄物処理系活性炭式希ガスホールドアップ塔	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			気体廃棄物処理系活性炭式希ガスホールドアップ塔連絡管	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			気体廃棄物処理系活性炭式希ガスホールドアップ塔～気体廃棄物処理系排ガスフィルタ	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			気体廃棄物処理系排ガスフィルタ～気体廃棄物処理系排ガス真空ポンプ	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			気体廃棄物処理系排ガス真空ポンプ～気体廃棄物処理系排ガス循環水タンク	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			気体廃棄物処理系排ガス循環水タンク～主排気筒入口配管合流部	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			主排気筒入口配管合流部～主排気筒	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
N33-F152A, B～主排気筒入口配管合流部	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—			

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(2/15)

		変更前					変更後					
設備区分	系統名	機器区分	名称	設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1		名称	設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
気体、液体又は固体廃棄物処理設備	放射性ドレン移送系	容器	タービン建屋低電導度廃液サンプ	B-1	クラス3	—		変更なし		—		
			タービン建屋高電導度廃液サンプ	B-1	クラス3	—		変更なし		—		
			廃棄物処理建屋低電導度廃液サンプ(6号機設備, 6,7号機共用)	B-1	クラス3	—		変更なし		—		
		主要弁	K11-F003	S	クラス2	—		変更なし		—		
			K11-F004	S	クラス2	—		変更なし		—		
			K11-F103	S	クラス2	—		変更なし		—		
			K11-F104	S	クラス2	—		変更なし		—		
		主配管	ドライウエル低電導度廃液サンプポンプ(A),(B)~K11-F003	B-1	クラス3	—		変更なし		—		
			K11-F003~K11-F004	S	クラス2	—		変更なし		—		
			K11-F004~ドライウエル低電導度廃液サンプポンプ出口配管合流部	B-1	クラス3	—		変更なし		—		
			ドライウエル低電導度廃液サンプポンプ出口配管合流部~原子炉建屋低電導度廃液サンプポンプ(B),(D)出口配管合流部	B-1	クラス3	—		変更なし		—		
			原子炉建屋低電導度廃液サンプポンプ(B),(D)出口配管合流部~原子炉建屋低電導度廃液サンプポンプ(A),(C)出口配管合流部	B-1	クラス3	—		変更なし		—		
			原子炉建屋低電導度廃液サンプポンプ(A),(C)出口配管合流部~放射性ドレン移送系原子炉建屋貫通部(その1)	B-1	クラス3	—		変更なし		—		
			ドライウエル高電導度廃液サンプポンプ(A),(B)~K11-F103	B-1	クラス3	—		変更なし		—		



表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(3/15)

		変更前				変更後						
設備区分	系統名	機器区分	名称	設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1		名称	設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
気体、液体又は固体廃棄物処理設備	放射性ドレン移送系	主配管	K11-F103～K11-F104	S	クラス2	—	—	変更なし	—	—	—	—
			K11-F104～ドライウエル低電導度廃液サンプポンプ出口配管合流部	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—
			原子炉建屋低電導度廃液サンプポンプ(B), (D)～原子炉建屋低電導度廃液サンプポンプ(B), (D)出口配管合流部	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—
			原子炉建屋低電導度廃液サンプポンプ(A), (C)～原子炉建屋低電導度廃液サンプポンプ(A), (C)出口配管合流部	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—
			原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(A), (F)～原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(D), (I)出口配管合流部	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—
			原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(D), (I)出口配管合流部～原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(E), (J)出口配管合流部	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—
			原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(E), (J)出口配管合流部～放射性ドレン移送系原子炉建屋貫通部(その2)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—
			原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(D), (I)～原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(D), (I)出口配管合流部	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—
			原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(E), (J)～原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(B), (G)出口配管合流部	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—
			原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(B), (G)出口配管合流部～原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(C), (H)出口配管合流部	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—
			原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(C), (H)出口配管合流部～原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(E), (J)出口配管合流部	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(4/15)

		変更前					変更後						
設備区分	系統名	機器区分	名称	設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1		名称	設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1		
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス	
気体、液体又は固体廃棄物処理設備	放射性ドレン移送系	主配管	原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(B),(G)～原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(B),(G)出口配管合流部	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	
			原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(C),(H)～原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(C),(H)出口配管合流部	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			タービン建屋低電導度廃液サンプポンプ(A),(C)～タービン建屋低電導度廃液サンプポンプ(B),(D)出口配管合流部	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			タービン建屋低電導度廃液サンプポンプ(B),(D)出口配管合流部～放射性ドレン移送系タービン建屋貫通部	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			タービン建屋低電導度廃液サンプポンプ(B),(D)～タービン建屋低電導度廃液サンプポンプ(B),(D)出口配管合流部	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			タービン建屋高電導度廃液サンプポンプ(A),(C)～配管取合点(7号機放射性ドレン移送系,廃棄物処理建屋放射性ドレン移送系)(その1)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			タービン建屋高電導度廃液サンプポンプ(B),(D)～配管取合点(7号機放射性ドレン移送系,廃棄物処理建屋放射性ドレン移送系)(その2)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			放射性ドレン移送系原子炉建屋貫通部(その1)～低電導度廃液系収集槽入口収集管	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			放射性ドレン移送系原子炉建屋貫通部(その2)～タービン建屋高電導度廃液サンプポンプ(A),(C)出口配管合流部	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			タービン建屋高電導度廃液サンプポンプ(A),(C)出口配管合流部～K13-F024	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
配管取合点(7号機放射性ドレン移送系,廃棄物処理建屋放射性ドレン移送系)(その1)～タービン建屋高電導度廃液サンプポンプ(A),(C)出口配管合流部	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	変更なし	—	—			

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(5/15)

		変更前						変更後				
設備区分	系統名	機器区分	名称	設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1		名称	設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
気体、液体又は固体廃棄物処理設備	放射性ドレン移送系	主配管	配管取合点（7号機放射性ドレン移送系，廃棄物処理建屋放射性ドレン移送系）（その2）～高電導度廃液系放射性ドレン移送配管合流部	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—
			放射性ドレン移送系タービン建屋貫通部～K12-F113	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—
			圧力抑制室プール水サージポンプ室高電導度廃液サンプポンプ～高電導度廃液系収集タンク入口収集管（床ドレン廃液用）（5号機設備，5,6,7号機共用）	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—
			廃棄物処理建屋低電導度廃液サンプポンプ～低電導度廃液系収集槽入口収集管（6号機設備，6,7号機共用）	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—
			廃棄物処理建屋高電導度廃液サンプポンプ～高電導度廃液系収集タンク入口収集管（化学廃液用）（6号機設備，6,7号機共用）	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—
			サービス建屋高電導度廃液サンプポンプ～高電導度廃液系収集タンク入口収集管（化学廃液用）（6号機設備，6,7号機共用）	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—
	低電導度廃液系	主配管	低電導度廃液系収集槽入口収集管（6号機設備，6,7号機共用）	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—
			低電導度廃液系収集槽～低電導度廃液系収集ポンプ（6号機設備，6,7号機共用）	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	
			低電導度廃液系収集ポンプ～低電導度廃液系通水ポンプ（6号機設備，6,7号機共用）	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	
			低電導度廃液系通水ポンプ～低電導度廃液系ろ過器（6号機設備，6,7号機共用）	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	
			低電導度廃液系ろ過器～低電導度廃液系脱塩塔（6号機設備，6,7号機共用）	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	
			低電導度廃液系ろ過器～K21-F105（6号機設備，6,7号機共用）	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	
			低電導度廃液系脱塩塔～低電導度廃液系サンプル槽（6号機設備，6,7号機共用）	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(6/15)

		変更前					変更後						
設備区分	系統名	機器区分	名称	設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1		名称	設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1		
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス	
気体、 液体又は固体廃棄物処理設備	低電導度廃液系	主配管	低電導度廃液系脱塩塔～K21-F202 (6号機設備, 6,7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	
			低電導度廃液系サンプル槽～低電導度廃液系サンプルポンプ (6号機設備, 6,7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			低電導度廃液系サンプルポンプ～低電導度廃液系サンプルポンプ出口配管合流部 (6号機設備, 6,7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			低電導度廃液系サンプルポンプ出口配管合流部～低電導度廃液系サンプルポンプ出口配管分岐部 (6号機設備, 6,7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			低電導度廃液系サンプルポンプ出口配管分岐部～低電導度廃液系 (6号機設備, 6,7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			K13-F145～低電導度廃液系サンプルポンプ出口配管合流部 (6号機設備, 6,7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			低電導度廃液系サンプルポンプ出口配管分岐部～P13-F024 (6号機設備, 6,7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
	高電導度廃液系	熱交換器	高電導度廃液系濃縮装置加熱器(5号機設備, 5,6,7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			高電導度廃液系濃縮装置加熱器(6号機設備, 5,6,7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
		容器	高電導度廃液系収集タンク(5号機設備, 5,6,7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			高電導度廃液系収集タンク(6号機設備, 5,6,7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
		主配管	高電導度廃液系放射性ドレン移送配管合流部～K13-F008	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			高電導度廃液系収集タンク入口収集管(床ドレン廃液用)(5号機設備, 5,6,7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			高電導度廃液系収集タンク入口収集管(化学廃液用)(5号機設備, 5,6,7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(7/15)

		変更前					変更後						
設備区分	系統名	機器区分	名称	設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1		名称	設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1		
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス	
気体、液体又は固体廃棄物処理設備	高電導度廃液系	主配管	配管取合点(廃棄物処理建屋高電導度廃液系, 5号機高電導度廃液系)(その2)~高電導度廃液系収集タンク入口収集管(化学廃液用)(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	
			高電導度廃液系収集タンク~高電導度廃液系収集ポンプ(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			高電導度廃液系濃縮装置蒸発缶~高電導度廃液系濃縮装置蒸発缶出口配管合流部(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			高電導度廃液系濃縮装置蒸発缶出口配管合流部~高電導度廃液系濃縮装置循環ポンプ(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			高電導度廃液系収集ポンプ~高電導度廃液系収集ポンプ出口配管合流部(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			高電導度廃液系収集ポンプ出口配管合流部~高電導度廃液系濃縮装置蒸発缶出口配管合流部(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			高電導度廃液系濃縮装置循環ポンプ~高電導度廃液系濃縮装置加熱器(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			高電導度廃液系収集ポンプ出口配管合流部~K13-F190A, B(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			高電導度廃液系濃縮装置蒸発缶~高電導度廃液系濃縮装置デミスタ(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			高電導度廃液系濃縮装置デミスタ~高電導度廃液系濃縮装置復水器(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			高電導度廃液系濃縮装置復水器~高電導度廃液系蒸留水タンク(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			高電導度廃液系蒸留水タンク~高電導度廃液系蒸留水ポンプ(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(8/15)

		変更前					変更後						
設備区分	系統名	機器区分	名称	設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1		名称	設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1		
				耐震重要度 分類	機器 クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス		耐震重要度 分類	機器 クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス	
気体、 液体又は固体廃棄物処理設備	高電導度廃液系	主配管	高電導度廃液系蒸留水ポンプ～高電導度廃液系蒸留水ポンプ出口配管合流部(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	
			高電導度廃液系蒸留水ポンプ出口配管合流部～高電導度廃液系脱塩塔(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			高電導度廃液系脱塩塔～高電導度廃液系脱塩塔出口配管分岐部(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			高電導度廃液系脱塩塔出口配管分岐部～高電導度廃液系サンプル槽(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			高電導度廃液系脱塩塔出口配管分岐部～高電導度廃液系蒸留水ポンプ出口配管合流部(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			高電導度廃液系脱塩塔～高電導度廃液系(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			高電導度廃液系サンプル槽～高電導度廃液系サンプルポンプ(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			高電導度廃液系サンプルポンプ～高電導度廃液系サンプルポンプ出口配管分岐部(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			高電導度廃液系サンプルポンプ出口配管分岐部～高電導度廃液系貯留槽入口配管分岐部(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			高電導度廃液系貯留槽入口配管分岐部～K13-F072A, B(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			K13-F072A, B～高電導度廃液系貯留槽(5号機設備, 5, 6, 7号機共用) <sup>*2</sup>	C	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			高電導度廃液系貯留槽入口配管分岐部～配管取合点(5号機高電導度廃液系, 廃棄物処理建屋高電導度廃液系)(その1)(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
高電導度廃液系サンプルポンプ出口配管分岐部～K12-F058 出口配管合流部(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—			

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(9/15)

		変更前					変更後						
設備区分	系統名	機器区分	名称	設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1		名称	設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1		
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス	
気体、液体又は固体廃棄物処理設備	高電導度廃液系	主配管	K13-F024～高電導度廃液系収集タンク(6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	
			高電導度廃液系収集タンク入口収集管(化学廃液用)(6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			高電導度廃液系収集タンク～高電導度廃液系収集ポンプ(6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			高電導度廃液系濃縮装置蒸発缶～高電導度廃液系濃縮装置蒸発缶出口配管合流部(6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			高電導度廃液系濃縮装置蒸発缶出口配管合流部～高電導度廃液系濃縮装置循環ポンプ(6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			高電導度廃液系収集ポンプ～高電導度廃液系収集ポンプ出口配管分岐部(6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			高電導度廃液系収集ポンプ出口配管分岐部～濃縮廃液タンク入口配管分岐部(6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			濃縮廃液タンク入口配管分岐部～高電導度廃液系濃縮装置蒸発缶出口配管合流部(6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			高電導度廃液系収集ポンプ出口配管分岐部～配管取合点(廃棄物処理建屋高電導度廃液系, 5号機高電導度廃液系)(その2)(6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			高電導度廃液系濃縮装置循環ポンプ～高電導度廃液系濃縮装置加熱器(6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			濃縮廃液タンク入口配管分岐部～K13-F058(6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			高電導度廃液系濃縮装置蒸発缶～高電導度廃液系濃縮装置復水器(6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(10/15)

		変更前					変更後						
設備区分	系統名	機器区分	名称	設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1		名称	設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1		
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス	
気体、液体又は固体廃棄物処理設備	高電導度廃液系	主配管	高電導度廃液系濃縮装置復水器～高電導度廃液系蒸留水タンク(6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	
			高電導度廃液系蒸留水タンク～高電導度廃液系蒸留水ポンプ(6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			高電導度廃液系蒸留水ポンプ～高電導度廃液系脱塩塔(6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			高電導度廃液系脱塩塔～高電導度廃液系サンプル槽(6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			高電導度廃液系脱塩塔～低電導度廃液系高電導度廃液配管合流部(6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			高電導度廃液系サンプル槽～高電導度廃液系サンプルポンプ(6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			高電導度廃液系サンプルポンプ～高電導度廃液系サンプルポンプ出口配管分岐部(6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			高電導度廃液系サンプルポンプ出口配管分岐部～5号機高電導度廃液系貯留槽入口配管合流部(6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			5号機高電導度廃液系貯留槽入口配管合流部～K13-F145(6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			高電導度廃液系サンプルポンプ出口配管分岐部～K13-F120(6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			*2 K13-F120～放出カナル(6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	C	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			配管取合点(5号機高電導度廃液系, 廃棄物処理建屋高電導度廃液系)(その1)～5号機高電導度廃液系貯留槽入口配管合流部(6号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—



表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(11/15)

		変更前					変更後						
設備区分	系統名	機器区分	名称	設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1		名称	設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1		
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス	
気体、液体又は固体廃棄物処理設備	圧力抑制室プール水排水系	主配管	U49-F071～U49-F072	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	
			圧力抑制室プール水サージタンク室入口～圧力抑制室プール水サージポンプ出口配管合流部(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			圧力抑制室プール水サージポンプ出口配管合流部～圧力抑制室プール水サージタンク(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			圧力抑制室プール水サージタンク～圧力抑制室プール水サージポンプ(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			圧力抑制室プール水サージポンプ出口配管合流部(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			E11-F047～圧力抑制室プール水サージタンク室入口配管合流部(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			圧力抑制室プール水サージタンク室入口配管合流部～圧力抑制室プール水サージタンク室入口(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			配管取合点(6号機圧力抑制室プール水排水系, 5号機圧力抑制室プール水排水系)～圧力抑制室プール水サージタンク室入口配管合流部(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			U49-F061～U49-F062入口配管分岐部(6号機設備, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			U49-F062入口配管分岐部～配管取合点(6号機圧力抑制室プール水排水系, 5号機圧力抑制室プール水排水系)(6号機設備, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
	U49-F072～U49-F062入口配管分岐部(6号機設備, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—		
	廃スラッジ系	容器	復水浄化系逆洗水受タンク	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	
焼却炉建屋廃スラッジタンク(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)			B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—		

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(12/15)

		変更前						変更後					
設備区分	系統名	機器区分	名称	設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1		名称	設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1		
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス	
気体、液体又は固体廃棄物処理設備	廃スラッジ系	主配管	原子炉冷却材浄化系逆洗水受タンク～原子炉冷却材浄化系逆洗水移送ポンプ	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	
			原子炉冷却材浄化系逆洗水移送ポンプ～廃スラッジ系原子炉建屋貫通部	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			復水浄化系逆洗水受タンク～復水浄化系逆洗水移送ポンプ	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			復水浄化系逆洗水移送ポンプ～廃スラッジ系タービン建屋貫通部	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			廃スラッジ系原子炉建屋貫通部～K21-F171	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			廃スラッジ系タービン建屋貫通部～K21-F173	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			廃スラッジ系受ポンプ～K21-F220A, B(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			K21-F220A, B～乾燥機給液タンク(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			K21-F220A, B～K21-F223A, B(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			K21-F223A, B～配管取合点(5号機廃スラッジ系, 焼却炉建屋廃スラッジ系)(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			配管取合点(廃棄物処理建屋廃スラッジ系, 5号機廃スラッジ系)～K21-F223A, B(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			配管取合点(5号機廃スラッジ系, 焼却炉建屋廃スラッジ系)～K21-F401A, B(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			K21-F401A, B～焼却炉建屋廃スラッジタンク(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			焼却炉建屋廃スラッジタンク～焼却炉建屋廃スラッジタンク出口配管合流部(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(13/15)

		変更前					変更後						
設備区分	系統名	機器区分	名称	設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1		名称	設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1		
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス	
気体、液体又は固体廃棄物処理設備	廃スラッジ系	主配管	焼却炉建屋廃スラッジタンク出口配管合流部～焼却炉建屋廃スラッジポンプ (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	
			焼却炉建屋廃スラッジポンプ～焼却炉建屋廃スラッジポンプ出口配管分岐部 (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			焼却炉建屋廃スラッジポンプ出口配管分岐部～焼却炉建屋廃スラッジ供給ポンプ (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			焼却炉建屋廃スラッジ供給ポンプ～雑固体系焼却炉 (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			K21-F401A, B～焼却炉建屋廃スラッジポンプ出口配管分岐部 (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			焼却炉建屋廃スラッジタンクデカント部～焼却炉建屋廃スラッジタンク出口配管合流部 (5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			廃スラッジ系原子炉建屋貫通部～原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽 (6号機設備, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			廃スラッジ系タービン建屋貫通部～原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽 (6号機設備, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			K21-F171～原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽 (6号機設備, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			K21-F173～原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽 (6号機設備, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			K21-F105～原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽 (6号機設備, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽～原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽デカントポンプ (6号機設備, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽デカントポンプ～原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽デカントポンプ出口配管合流部 (6号機設備, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			K21-F202～使用済樹脂槽 (6号機設備, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(14/15)

		変更前				変更後							
設備区分	系統名	機器区分	名称	設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1		名称	設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1		
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス	
気体、液体又は固体廃棄物処理設備	廃スラッジ系	主配管	K21-F201～使用済樹脂槽(6号機設備, 6,7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	
			使用済樹脂槽～使用済樹脂槽デカントポンプ(6号機設備, 6,7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			使用済樹脂槽デカントポンプ～低電導度廃液系収集槽入口収集管(6号機設備, 6,7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽～スラッジ移送ポンプ入口配管合流部(6号機設備, 6,7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			スラッジ移送ポンプ入口配管合流部～スラッジ移送ポンプ(6号機設備, 6,7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			使用済樹脂槽～スラッジ移送ポンプ入口配管合流部(6号機設備, 6,7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			スラッジ移送ポンプ～スラッジ移送ポンプ出口配管分岐部(6号機設備, 6,7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			スラッジ移送ポンプ出口配管分岐部～配管取合点(廃棄物処理建屋廃スラッジ系, 5号機廃スラッジ系)(6号機設備, 6,7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			スラッジ移送ポンプ出口配管分岐部～原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽デカントポンプ出口配管合流部(6号機設備, 6,7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	変更なし	—	—
			原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽デカントポンプ出口配管合流部～低電導度廃液系収集槽入口収集管(6号機設備, 6,7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	変更なし	—	—
	濃縮廃液系	主配管	K13-F190A,B～濃縮廃液タンク(5号機設備, 5,6,7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			濃縮廃液タンク～濃縮廃液ポンプ(5号機設備, 5,6,7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—
			濃縮廃液ポンプ～乾燥機給液タンク(5号機設備, 5,6,7号機共用)	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—	—

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(15/15)

			変更前				変更後					
設備区分	系統名	機器区分	名称	設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1		名称	設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
気体、液体又は固体廃棄物処理設備	濃縮廃液系	主配管	配管取合点（廃棄物処理建屋濃縮廃液系，5号機固化系）～乾燥機給液タンク（5号機設備，5,6,7号機共用）	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	
			K13-F058～濃縮廃液タンク（6号機設備，5,6,7号機共用）	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—		
			濃縮廃液タンク～濃縮廃液ポンプ（6号機設備，5,6,7号機共用）	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—		
			濃縮廃液ポンプ～配管取合点（廃棄物処理建屋濃縮廃液系，5号機固化系）（6号機設備，5,6,7号機共用）	B-1	クラス3	—	—	変更なし	—	—		
	—	排気筒	主排気筒	S*3 C-1*4	—	—	—	変更なし	—	—		
堰その他の設備	—	原子炉格納容器本体外に設置される流体状の放射性廃棄物を内包する容器からの流体状の放射性廃棄物の施設外への漏えいを防止するために施設する堰	廃棄物処理建屋1階トラック室出入口（6号機設備，5,6,7号機共用）	B	—	—	—	変更なし	—	—		

注記\*1：表1に用いる略語の定義は「原子炉本体」の「8 原子炉本体の基本設計方針，適用基準及び適用規格」に記載する「表1 原子炉本体の主要設備リスト」の「付表1」による。

\*2：本設備は記載の適正化を行うものであり，手続き対象外である。

\*3：内筒の耐震重要度分類を示す。

\*4：外筒の耐震重要度分類を示す。